
地域包括ケアシステムの構築を
目途に、三崎地区エリアにて地域診
断を試みることにした。それは、当該
地域に①支援を提供しなければい
けない人がどれだけいて、②その地
域に現在どのような資源・サービスが
あり、③対象者は既存サービスをど
のように利用しているのかを把握・分
析したうえで、④足りない資源・サー
ビスは何かを把握する作業である。

地域包括ケア推進の ための地域診断書

海外区の場合

社会福祉法人三浦市社会福祉協
会地域包括支援センター「おまかせ」
平成 30 年 5 月 31 日



地域診断

2018 May

contents

2	はじめに
4	対象地域
4	地域診断エリア
5	人口・世帯数の推移
5	交通と安全
7	教育環境の状況
7	経済・産業・医療
8	仮説と持続可能な地域社会の構築に向けたビジョン
9	海外区の調査結果
9	■直撃！キーマンに聞いた 海外区長 大森 英理亜さん
10	■直撃！キーマンに聞いた 海外区民生委員 井上 智子さん
11	■直撃！キーマンに聞いた 海外区民生委員 阿部 菊枝さん
12	■海外区における地域踏査の概要
12	●ソフト面（人々の暮らし、助け合いの仕組みなど）住民ヒアリング
55	●ソフト面（人々の暮らし、助け合いの仕組みなど）店舗・会社など
59	●ソフト面（人々の暮らし、助け合いの仕組みなど）活動団体ヒアリング
61	●ハード面（ユニバーサルデザインによるまちづくりは進んでいるか？）
86	結果
88	考察
89	提案
91	今後に向けて～「誰もがいつまでも安心して暮らしていくために」
92	編集後記

はじめに

私たちは今、一つの覚悟を求められている。

三浦市の高齢者を取り巻く環境を俯瞰すると、決して安穩としてはいられない—というのが、衆目の一致するところではないだろうか。国交省が公表した公示地価（平成 30 年 1 月 1 日時点）でも、三浦半島の下落傾向は顕著で、お隣の横須賀市と共に下落率のワースト 10 を独占してしまった。実質所得の伸び悩みが、不動産取引を低調なものとし、住宅地の価格を抑制している—というのが専らの見方である。超少子高齢化、人口減少、地域経済の低迷といった負のスパイラルが、その要因であることは、容易に想像がつこう。こうした悪条件が、「どうせ…」といった、ある種の諦観を招くのである。事実、地価の下落は税収にも跳ね返る。

いずれにしても、この三浦市において、手放しで喜べるような光明を見いだすのは難しい。

そうした中、「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律（地域包括ケアシステム強化法）」が、平成 29 年 5 月 26 日の参院本会議で可決・成立。これによって、どの自治体においても、当該地域社会の特性に応じた「地域包括ケアシステム」を構築することが強く求められるようになった。地域包括ケアシステムとは、「**高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるようにサポートし合う社会システム**」のことで、自助、互助といったシステムの骨格部分の形成を住民に委ねられていることを特徴とする。一方で、この領域が脆弱では、強固な仕組みを構築することはできない。

当法人では、従前から「地域包括ケアシステム」の構築を推進してきたわけだが、その立場からすると同法は、まさにそれを後押ししてくれる法律だといえよう。これを受けて当法人では、神奈川県 of CHO（健康経営）構想に逸早く賛同し、健康増進の重要性を唱えるとともに、この理念を地域包括ケアシステムの土台づくりに役立てようと事業展開を図ってきた。未病センターの設置とそれを能動的なものとする“未病サロン（主張未病センター）”を市内各所に設置する試みは、その取り組みの一環でもある。

超高齢社会と対峙するにあたって、健康寿命を延ばすという行為が、現時点で最も有効な選択であるとするなら、それ相応の覚悟と心構えが必要となる。住み慣れた地域社会の中でどのように生きていくのか—という選択を住民の側に戻すことこそが、地域包括ケアシステムの本質だからである。どこかの時点で住民自らがそのことに“気づき”覚悟を決めなければならない—というわけだ。

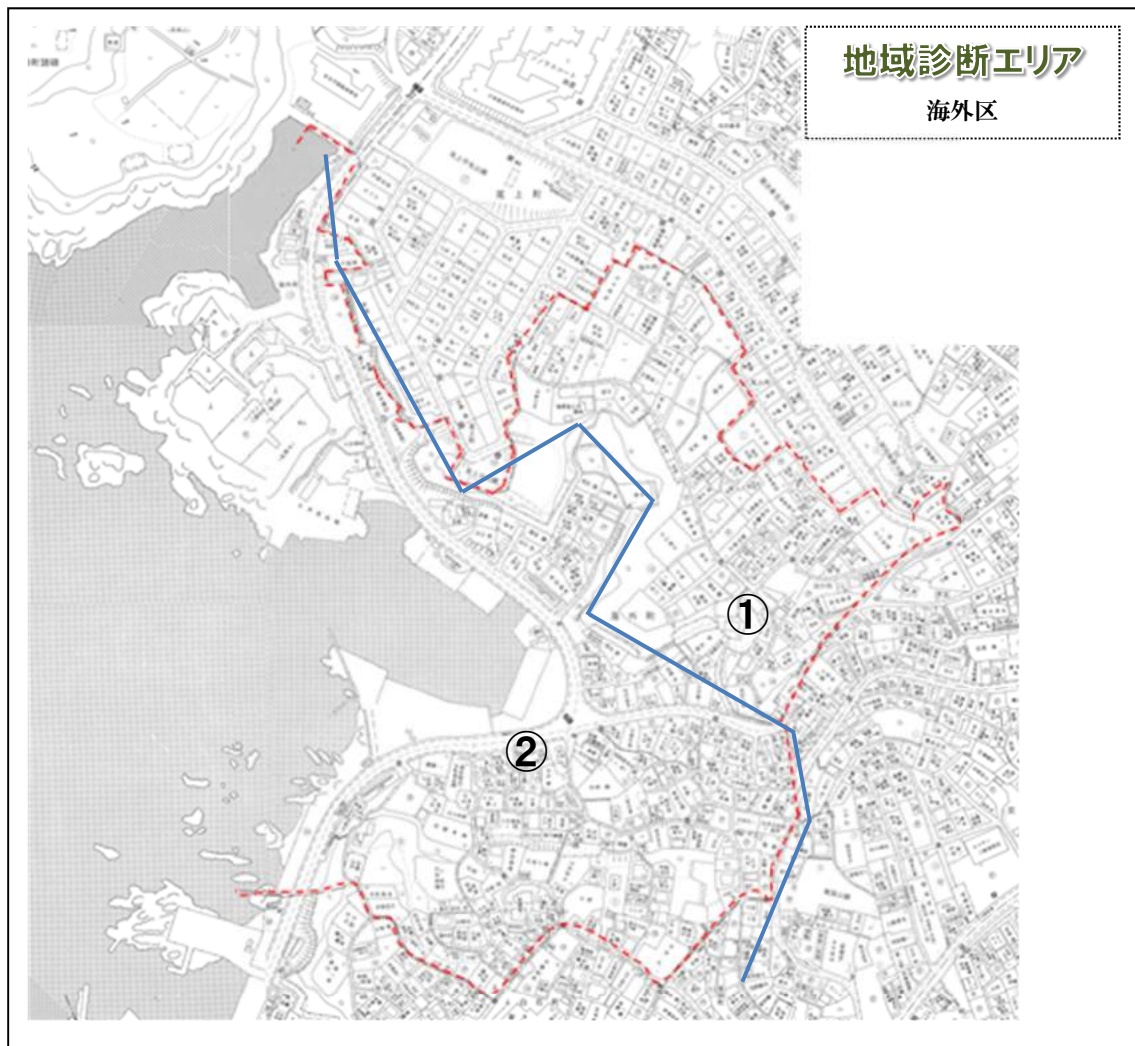
このように「住民主体」の取り組みが期待されている中で、それこそ「住民主体の原則に則って」活動してきた社会福祉協議会が手を拱いているわけにはいかない。行政の取り組みを強力に後押しし、地域包括ケアシステムの構築に寄与したい—という強い“決意”が今も我々の活動を支えている。モデルとなる小地域を設定し、地域診断をおこなっているのも、その決意の表れである。はたして、我々は、これまでに 6 つの地域で地域診断をおこなってきたわけだが、“足”で把握する情報は当該地域の“強み”と“弱み”を公のものとする一方で、その解決策において

も、紋切り型であったり、先進事例の単なる模倣を許さなかった。地域社会の中には、高齢者の問題だけでなく、障害児者の問題、貧困、権利擁護、インフラの整備など、既存の制度や枠組みでは解決できない課題が複雑に絡み合っている。また、地域診断が、当該地域が持つ潜在能力の顕在化という以上に、そのプロセスにおいて地域の組織化に寄与することもわかった。今後このプロセスを第 2 層の協議体づくりに役立てたいとも考えている。そのためには、地域診断を住民参加で実施するための工夫も求められよう。そう、決して“押し付け”ではない地域住民による地域住民のための「地域包括ケアシステム」を構築するために…。

対象地域

今回調査するのは、三崎地区内の海外区。海外区は、相模湾に面していて、漁業を中心に栄えてきた。昭和 29 年に「海外町」として町に指定された。隣接する区は、白石区、尾上区。海外区民のほとんどは海外町の住民だが、数軒白石町の番地の住民も含まれている。海に面し漁業を中心に発展してきた標高の低い土地（以下、便宜上「下町」とする。）と、昭和 58 年頃尾上町と同時期に住宅用地として開発された標高の高い土地（以下「上町」とする。）に大別される。その間の行き来には、主に車も通行できる尻つぷり坂や、歩行者のみが通行できる階段等が利用されている。

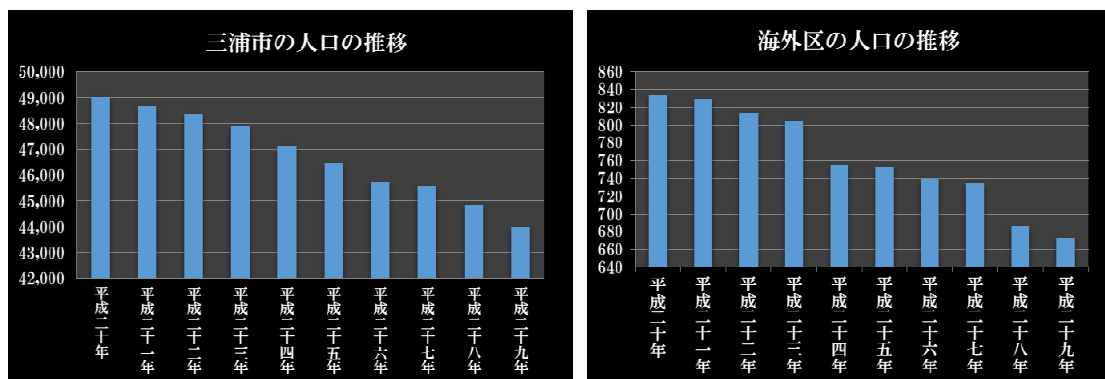
地域住民によると約 60 年前の海外区は、そのほとんどが湿地や田園だった。また、三崎港～油壺間を通る海岸沿いの西海岸線道路が昭和 47 年に整備されるまでは、広い砂浜があった。



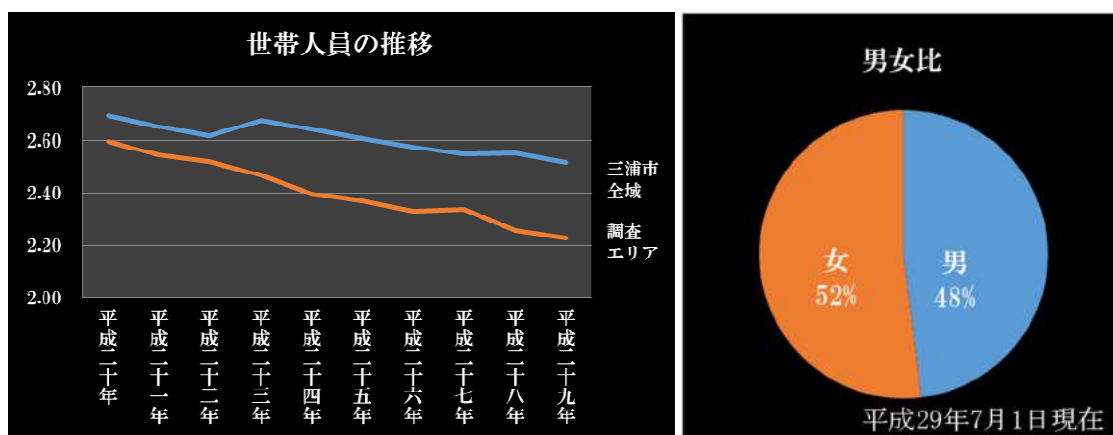
※上記赤い点線の枠内が地域診断エリア、青い実線で区切られた①、②はハード面調査エリア

人口・世帯数の推移

海外区の人口は 673 人、世帯数は 302。（平成 29 年 7 月 1 日現在）下グラフからもわかるように人口減少が続いている。三浦市全域の人口はここ 10 年で 10% の減、海外区については、約 21%（185 人）の減となっている。つまり、海外区の人口減少率は、三浦市全域の 2 倍以上である。



海外区の世帯人員の平均は 2.23 人（平成 29 年 7 月 1 日現在）で 10 年で約 14% 減少している。同期間において三浦市の世帯人員は約 8% 減少、世帯人員の推移を三浦市全域と比べると、ほぼ 2 倍の減少率である。高齢化と人口減少が続いていることから市全域と同様に今後も世帯人員の減少傾向は続くことが予想される。続いて人口の男女比であるが、三浦市全域の比率と近似している。また、10 年前と比べてもさほど大きな変化は見られない。



交通と安全

①公共交通機関

海外区内にある京浜急行バスの停留所は、「海外」の 1 ヶ所で、①三崎口駅～浜諸磯間、②浜諸磯～三崎東岡間、③浜諸磯～三浦市立病院間を運行するバスの停留所である。バスは 7～19 時まで運行している（下図参照）。

他に公的機関が運行するバスとして、三浦市老人福祉保健センターの無料循環バスがある。発着場所である海外バス停付近には、市内 3 コースを巡るバスが全て通る。よって、同センターの休館日である月曜日・祝日とバスの運行がない日曜日を除き、1 日 2 本（午前・午後ともに各コ

ース1本ずつ)のバスを利用できる。

他に、スーパーマーケットが運行する無料送迎バスがある。京急ストア三崎東岡店バスが「海外町3番地駐車場」を、スーパーマーケットフジ三崎店のバスが「海外町11番地ミサキアトリエさん前」を停留所としており、地域住民にとって有効な移動手段となっているようだ。京急ストア三崎東岡店は、「お買物無料送迎バス」という名称で、平日及び祝祭日に

京急バス「海外」時刻表

三崎口駅	
平日・土曜	日祝
7:30	
8:00	10:00
8:30	10:30
9:00	11:00
9:30	11:30
10:00	12:00
10:30	12:30
11:00	13:00
11:30	13:30
12:00	14:00
12:30	14:30
13:00	15:00
13:30	15:30
14:00	16:00
14:30	16:30
15:00	17:00
15:30	17:30
16:00	18:00
16:30	18:30
17:00	19:00
17:30	19:30
18:00	20:00
18:30	20:30
19:00	21:00
19:30	21:30
20:00	22:00
20:30	22:30
21:00	23:00
21:30	23:30
22:00	24:00
22:30	24:30
23:00	25:00
23:30	25:30
24:00	26:00
24:30	26:30
25:00	27:00
25:30	27:30
26:00	28:00
26:30	28:30
27:00	29:00
27:30	29:30
28:00	30:00
28:30	30:30
29:00	31:00
29:30	31:30
30:00	32:00
30:30	32:30
31:00	33:00
31:30	33:30
32:00	34:00
32:30	34:30
33:00	35:00
33:30	35:30
34:00	36:00
34:30	36:30
35:00	37:00
35:30	37:30
36:00	38:00
36:30	38:30
37:00	39:00
37:30	39:30
38:00	40:00
38:30	40:30
39:00	41:00
39:30	41:30
40:00	42:00
40:30	42:30
41:00	43:00
41:30	43:30
42:00	44:00
42:30	44:30
43:00	45:00
43:30	45:30
44:00	46:00
44:30	46:30
45:00	47:00
45:30	47:30
46:00	48:00
46:30	48:30
47:00	49:00
47:30	49:30
48:00	50:00
48:30	50:30
49:00	51:00
49:30	51:30
50:00	52:00
50:30	52:30
51:00	53:00
51:30	53:30
52:00	54:00
52:30	54:30
53:00	55:00
53:30	55:30
54:00	56:00
54:30	56:30
55:00	57:00
55:30	57:30
56:00	58:00
56:30	58:30
57:00	59:00
57:30	59:30
58:00	60:00
58:30	60:30
59:00	61:00
59:30	61:30
60:00	62:00
60:30	62:30
61:00	63:00
61:30	63:30
62:00	64:00
62:30	64:30
63:00	65:00
63:30	65:30
64:00	66:00
64:30	66:30
65:00	67:00
65:30	67:30
66:00	68:00
66:30	68:30
67:00	69:00
67:30	69:30
68:00	70:00
68:30	70:30
69:00	71:00
69:30	71:30
70:00	72:00
70:30	72:30
71:00	73:00
71:30	73:30
72:00	74:00
72:30	74:30
73:00	75:00
73:30	75:30
74:00	76:00
74:30	76:30
75:00	77:00
75:30	77:30
76:00	78:00
76:30	78:30
77:00	79:00
77:30	79:30
78:00	80:00
78:30	80:30
79:00	81:00
79:30	81:30
80:00	82:00
80:30	82:30
81:00	83:00
81:30	83:30
82:00	84:00
82:30	84:30
83:00	85:00
83:30	85:30
84:00	86:00
84:30	86:30
85:00	87:00
85:30	87:30
86:00	88:00
86:30	88:30
87:00	89:00
87:30	89:30
88:00	90:00
88:30	90:30
89:00	91:00
89:30	91:30
90:00	92:00
90:30	92:30
91:00	93:00
91:30	93:30
92:00	94:00
92:30	94:30
93:00	95:00
93:30	95:30
94:00	96:00
94:30	96:30
95:00	97:00
95:30	97:30
96:00	98:00
96:30	98:30
97:00	99:00
97:30	99:30
98:00	100:00
98:30	100:30
99:00	101:00
99:30	101:30
100:00	102:00
100:30	102:30
101:00	103:00
101:30	103:30
102:00	104:00
102:30	104:30
103:00	105:00
103:30	105:30
104:00	106:00
104:30	106:30
105:00	107:00
105:30	107:30
106:00	108:00
106:30	108:30
107:00	109:00
107:30	109:30
108:00	110:00
108:30	110:30
109:00	111:00
109:30	111:30
110:00	112:00
110:30	112:30
111:00	113:00
111:30	113:30
112:00	114:00
112:30	114:30
113:00	115:00
113:30	115:30
114:00	116:00
114:30	116:30
115:00	117:00
115:30	117:30
116:00	118:00
116:30	118:30
117:00	119:00
117:30	119:30
118:00	120:00
118:30	120:30
119:00	121:00
119:30	121:30
120:00	122:00
120:30	122:30
121:00	123:00
121:30	123:30
122:00	124:00
122:30	124:30
123:00	125:00
123:30	125:30
124:00	126:00
124:30	126:30
125:00	127:00
125:30	127:30
126:00	128:00
126:30	128:30
127:00	129:00
127:30	129:30
128:00	130:00
128:30	130:30
129:00	131:00
129:30	131:30
130:00	132:00
130:30	132:30
131:00	133:00
131:30	133:30
132:00	134:00
132:30	134:30
133:00	135:00
133:30	135:30
134:00	136:00
134:30	136:30
135:00	137:00
135:30	137:30
136:00	138:00
136:30	138:30
137:00	139:00
137:30	139:30
138:00	140:00
138:30	140:30
139:00	141:00
139:30	141:30
140:00	142:00
140:30	142:30
141:00	143:00
141:30	143:30
142:00	144:00
142:30	144:30
143:00	145:00
143:30	145:30
144:00	146:00
144:30	146:30
145:00	147:00
145:30	147:30
146:00	148:00
146:30	148:30
147:00	149:00
147:30	149:30
148:00	150:00
148:30	150:30
149:00	151:00
149:30	151:30
150:00	152:00
150:30	152:30
151:00	153:00
151:30	153:30
152:00	154:00
152:30	154:30
153:00	155:00
153:30	155:30
154:00	156:00
154:30	156:30
155:00	157:00
155:30	157:30
156:00	158:00
156:30	158:30
157:00	159:00
157:30	159:30
158:00	160:00
158:30	160:30
159:00	161:00
159:30	161:30
160:00	162:00
160:30	162:30
161:00	163:00
161:30	163:30
162:00	164:00
162:30	164:30
163:00	165:00
163:30	165:30
164:00	166:00
164:30	166:30
165:00	167:00
165:30	167:30
166:00	168:00
166:30	168:30
167:00	169:00
167:30	169:30
168:00	170:00
168:30	170:30
169:00	171:00
169:30	171:30
170:00	172:00
170:30	172:30
171:00	173:00
171:30	173:30
172:00	174:00
172:30	174:30
173:00	175:00
173:30	175:30
174:00	176:00
174:30	176:30
175:00	177:00
175:30	177:30
176:00	178:00
176:30	178:30
177:00	179:00
177:30	179:30
178:00	180:00
178:30	180:30
179:00	181:00
179:30	181:30
180:00	182:00
180:30	182:30
181:00	183:00
181:30	183:30
182:00	184:00
182:30	184:30
183:00	185:00
183:30	185:30
184:00	186:00
184:30	186:30
185:00	187:00
185:30	187:30
186:00	188:00
186:30	188:30
187:00	189:00
187:30	189:30
188:00	190:00
188:30	190:30
189:00	191:00
189:30	191:30
190:00	192:00
190:30	192:30
191:00	193:00
191:30	193:30
192:00	194:00
192:30	194:30
193:00	195:00
193:30	195:30
194:00	196:00
194:30	196:30
195:00	197:00
195:30	197:30
196:00	198:00
196:30	198:30
197:00	199:00
197:30	199:30
198:00	200:00
198:30	200:30
199:00	201:00
199:30	201:30
200:00	202:00
200:30	202:30
201:00	203:00
201:30	203:30
202:00	204:00
202:30	204:30
203:00	205:00
203:30	205:30
204:00	206:00
204:30	206:30
205:00	207:00
205:30	207:30
206:00	208:00
206:30	208:30
207:00	209:00
207:30	209:30
208:00	210:00
208:30	210:30
209:00	211:00
209:30	211:30
210:00	212:00
210:30	212:30
211:00	213:00
211:30	213:30
212:00	214:00
212:30	214:30
213:00	215:00
213:30	215:30
214:00	216:00
214:30	216:30
215:00	217:00
215:30	217:30
216:00	218:00
216:30	218:30
217:00	219:00
217:30	219:30
218:00	220:00
218:30	220:30
219:00	221:00
219:30	221:30
220:00	222:00
220:30	222:30
221:00	223:00
221:30	223:30
222:00	224:00
222:30	224:30
223:00	225:00
223:30	225:30
224:00	226:00
224:30	226:30
225:00	227:00
225:30	227:30
226:00	228:00
226:30	228:30
227:00	229:00
227:30	229:30
228:00	230:00
228:30	230:30
229:00	231:00
229:30	231:30
230:00	232:00
230:30	232:30
231:00	233:00
231:30	233:30
232:00	234:00
232:30	234:30
233:00	235:00
233:30	235:30
234:00	236:00
234:30	236:30
235:00	237:00
235:30	237:30
236:00	238:00
236:30	238:3

平成 28 年度は、三浦市防災課を講師として普段から家庭で取り組める「在宅避難の備蓄」などを学ぶ講座を開催し、約 50 名の参加があった。

同じく平成 29 年度は、9 月に津波や風水害やがけ崩れに関する講座を実施し、34 名の参加があった。

また、使用期限を目安として、約 8 年ごとに家庭用消火器の配布、回収をおこなっている。前は平成 27 年 11 月に実施している。

安全のための活動としては、尻っぶり坂の頂上付近において、小学生の下校を見守るスクールガードのボランティア活動が日常的におこなわれている。

教育環境の状況

海外区に教育機関はなく、三崎小学校、三崎中学校の通学区域となっている。

経済・産業・医療

海外区の主な産業は漁業である。三崎地区の漁港を総じて「三崎漁港」と呼び、海外区内の西海岸線道路沿いの港もその一部である。三崎漁港は、昭和 35 年に「特定第 3 種漁港※」に指定されている。マグロの遠洋漁業、サバや金目鯛などの沿岸漁業、浜辺での覗突漁など、漁業を営む人が多くいたが、現在は後継者不足や海洋環境の変化、経済の衰退などを理由に廃業する人が増えている。区内の漁業関連組織・企業として、神奈川県漁連三崎支所や、遊漁船業者・造船業者・水産加工業者が 1 軒ずつある。

その他の産業は 55 頁より詳述するが、日用品の買い物ができるコンビニエンスストアやスーパーマーケット等は区内にない。また、診療所・歯科等の医療機関、ドラッグストアもない。

※利用範囲が全国的なものの中で、水産業の振興上特に重要な漁港で、政令で定めるもの。銚子漁港や焼津漁港など全国に 13 ヶ所あり、全国の遠洋漁業の 9 割以上、沖合漁業の 5 割程度の水揚げ量を占めている。

仮説と持続可能な地域社会の構築に向けたビジョン

以上のような統計的データをもとに調査エリアの都市像について次のような仮説を立てた。

「漁業や食品加工業など三崎地区の中で経済が成り立っていた。買い物や役所、銀行など生活に必要な機関の多くは区の外にあり、歩いて出向いていた。最近は自家用車や原動機付き自転車、バスを利用する人も多いが、加齢に伴い、足腰が弱くなった高齢者にとっては、生活しづらさが生じている。就職先がなくなり、交通も不便なことから若年・労働世代の人口も流出している。

一口に『海外区』といってもその地形や成り立ちの違いから、住民間のつながりをつくり、地域の諸課題について思いを一つにすることが難しい地域なのではないか。」

果たして、この仮説を立証するために我々は、地域踏査（フィールドワーク）を実施することにした。主にその任にあたったのは、三浦市ボランティアセンターの杉崎、齋田である。生活支援コーディネーターの齋田が作業を主導した。

“仮説”に基づき、調査エリアにおいて、“互助”を範疇とする「生活支援サービス」の構築に向けて、下記のとおり、1つのビジョンを共有するに至る。目的は「住み慣れた地域社会の中で『誰もが』『いつまでも』『安心して』生活できるようにすること」にある。

■■ビジョン■■

連綿と築き上げてきた“支え合いの仕組み”を次代に引き継ぎ、住み慣れた地域社会の中で、誰もが安心してこれまでの生活を“継続”できるよう“ちょっとした困りごと”なら相互に助け合えるような“まちづくり”をめざす！

このビジョンの具現化を目途に、仮説の立証を試み、そこに乖離^{かいり}があるとするなら、逐次それに修正を加え、新たな、しかし、現実的な“都市像”を形成したいと考えた。

ゆえに、四則演算で求められるような量的データ（統計的）のみならず、足で稼ぐ質的データを重視することにした。当然そこには、地域住民に対するヒアリングや住民懇談会で得られた情報も加味されることになり、結果的に“人間的”地域診断を可能にするのではないかと結論を得たからである。

海外区の調査結果

地域踏査を実践するにあたって留意したのは、調査エリアのネガティブな部分を顕在化することに優先して、むしろ、その“強み”をより多く発見することに比重を置いたことにある。そこで「まちで発見した“あれこれ”沢山見つけよう！このまちの“強み（ストレングス）”」という惹句のもとに作業を進めた。

はたして、海外区では、どのような“発見”を得ることができたのであろうか？

なおこの地域診断書には、平成 29 年 6 月～12 月時点の調査内容を掲載している。

直撃！キーマンに聞いた



海外区長

大森 英理亜さん

海外町に住み始めて 10 年位になる。緑の多さが魅力的だったため、引越してきた。三浦市は気候が温暖。夏も冬も、最低限の家電でしのぐことができる。住んでいて大変なのは、塩害があること。家や車、草木が塩でやられてしまうので、台風の後には必ず真水をかけている。「三浦まちづくりの会（三浦市の住環境・街並み・景観を守り、整えていくことを目的とする団体）」と、「緑の油壺を守る会（油壺の北側から小網代の海岸清掃をおこなう団体）」に所属し、三浦市の環境整備のために活動している。平成 28 年度から区長を務めている。自治会としてやるべきは、地域住民が安心安全で、健康に暮らせるようにすることだと考えている。

海外区の成り立ちについて。下町は昔から人が住んでいたが、上町はかつて田畑だった。そこに家が建ち、今の形になった。そのため、下町は昔からの漁師が多く、上町は企業等に勤めている人が多い。また、上町と下町の間には、急な坂や階段があり行き来しづらいが、地形上の理由なので仕方がないと思う。そのような地形や区の成り立ちから、同じ区民であっても価値観や物事の考え方などの違いがある。しかし、その違いについて諦めるのではなく、どのように地域をつくっていくのか一緒に考えることが大切だと思う。

海外区の区費は、1 世帯あたり年額 3,000 円。自治会の定例会は月に 1 回実施している。

また、介護予防を目的に、海外会館において三浦市の事業である「元気アップ教室」を月 4 回実施している。1 回あたりの参加者は 10 名ほど。また、老人会が主催し、三浦市社会福祉協議会が共催する「未病サロン」が月 1 回実施されている。

その他に、認知症や防災などについての普及・啓発活動を実施している。平日に仕事をしている人も参加しやすいよう、日曜日に開催している。講座参加者は高齢の女性が多い。また、足腰が弱っている人も多いため、会館は畳敷きだが椅子を用意している。海外会館の老朽化について対策を講じるとともに、使いやすくなるよう設備を整えたい。

平成 28 年度は、市高齢介護課及び地域包括支援センターによる「認知症サポーター養成講座」を実施し、30 名ほどの参加があった。また、市防災課による「『在宅避難』と生活の中でできる備蓄」等についての講座には、50 名ほどの参加があった。

平成 29 年度も防災や健康に関する講座を計画している。引き続き、防災に関する知識の普及や、生活習慣病予防の活動を実施する必要があると考えている。

防災活動として、各世帯に消火器を配っている。最後に配ったのは平成 27 年 11 月。その 8 年前に配った消火器の使用期限が切れるのに合わせて実施し、期限の切れたものは回収した。予算上大変だが、重要な活動だと思う。また、一次避難場所に集まるという訓練を数年前におこなった。海外区には、一次避難場所が 6 つある。

最近困っていることは、予備軍を含め認知症の人が増えていること。区費を払おうと思い準

備していたお金を「誰かに取られた」と思い込み、警察に通報するまでに至ったケースがあった。結果、お金は自宅にあり、大事にはならなかった。認知症であれば仕方のないことだと思う。周りの人が「地域には認知症の人もいて、一緒に生活している」という認識を持つことができれば問題ないと思う。

今後の海外区に望むこととしては、地域の皆さんが、心身ともに安定して元気に住み続けられる地域であって欲しい。そのため、健康と防災の活動を続けていきたい。また、グローイング地区を見習って、80歳以上の二人暮らし世帯、75歳以上の一人暮らし世帯を対象とした見守り体制をつくることを検討していきたい。

海外区のおすすめスポット

- ・「海の学校」の前の浜から少し歩くと、絶景の岩場がある。
- ・多くの海蝕洞穴がある。いくつかは、大昔に人が住んでいた形跡がある。三浦市は海の恵みがあり、生活しやすかったのだろう。

直撃！キーマンに聞いた



海外区民生委員
井上 智子さん

約10年前に引越してきた当初、子どもが明るくていい挨拶をしてくれることに驚いた。思わず「いってらっしゃい」と声掛けしたが、「知らない人なのに平気かしら」と思った記憶がある。また、地元の人達は絆が強いだろうと思っていたが、すぐに私たちを受け入れてくれた。高齢者が多く、何かお手伝いしたいと考え介護の仕事に就いた。三浦市の高齢者は、足腰などに多少の不自由さがあっても明るい。弱音を吐かない人が多い。住民間に絆があり、近所に親戚が住んでいることも多い。「明日友人・知人に会う」など目標があって、日々を明るく過ごすことができていると思う。以前はよく陽だまりに高齢者がいたが、最近はなかなか目にしなくなった。それでも、庭が散らかっていると近所の人片付けてくれたり、支え合いがある地域。

子どもは少ないが、皆にこにこして、大事に見守っている。自分の孫も、近所の人声掛けしてくれるのを楽しみにしている。孫が小さい頃、泣き声が聞こえたらわざわざ様子を見に来てくれる人もいた。

民生委員として、海外区の半分と白石区の一部を担当している。つながりや壁があり、介入しきれないこともある。それでも必ずその人たちに声を掛けるようにしている。特に、認知症か否かといったグレーゾーンの方は、当事者が支援を必要としないため、支援しづらいことがある。今後も、見落としのないよう努めたいと思う。また、どういうときに地域包括支援センターに相談していいのか？と思っていた。

ハード面としては、家のそばの道路が狭くてガタガタしている。それでも車がよく通る道なので、気になっている。また、海外区の上町の方の住民間で集う場所がない。海外会館に行くときは、途中座ったり休んだりしながらゆっくり移動する必要がある。

直撃！キーマンに聞いた

海外区民生委員
阿部 菊枝さん

この地区に引越してきて 40 年位になる。

平成 29 年の 12 月で、民生委員になって 1 年になった。「役に立てることがあれば」と思い、民生委員を引き受けた。最近ようやく「民生委員はこの人」ということを近所の人に知ってもらえるようになってきたと感じる。「あの人の様子が気になる」などと、心配な人に関する情報をくれる近所の人がいる。

役に立ちそうな講座を受講したり、近くの民生委員の先輩に教えてもらいながらやっている。

三浦市社会福祉協議会の紙オムツ助成事業では、今まで状況を知らなかったお宅の状況の把握につながった。以前は、店舗までかさばる紙オムツを各自で買いに行かなければならなかったが、今はパンフレ

ットからの注文で届けてくれるため、便利になったと思う。しかし、こういった事業や介護保険サービスの利用について「私はまだ恩恵を受ける立場ではない」と遠慮する方も多くいる。

ここは、一人暮らしの高齢者が多い地域。病院以外ほとんど外出しない人も多くいる。このところ、認知症の方が増えていると実感する。今後も認知症の方に対応する事例はあると思う。若い人は、日中仕事に出ている。子どもの数は、海外区だけでなく、三崎小学校区全体でも減っている。

空き家が多く、草が生い茂っている。今のところ治安は問題ないが、野良猫が多く住みついている。実際、昨夏、植物が繁茂した私道を利用する複数の住民が、ノミに刺される被害が出た。人が減ると野生化した動物や害虫がはびこってしまうと思う。

海外区のいいところは、関係が近いため、地域住民の情報が入って来やすいところ。また、近所で助け合って、お願いし合える仲であるというところ。つい最近も、一人暮らしの高齢者女性が、隣の男性に頼んで、物干し竿の位置を直してもらっていた。しかしながら、地域全体が年をとってきて、男手が減っている。自分の家の周りの草刈もできなくなってくる。電灯に草が被さると、更に夜道が暗くなってしまう。

家族が減り、年をとって免許を返納すると、とたんに不便になると思う。

今後の海外区及び三浦市には、地元の人安心して使える場所、集まって楽しめる場所があるといいと思う。今使っている海外会館は狭く、老朽化している。同じく勤労市民センターも老朽化が進んでいる。高齢者が集まることができる場があれば、それぞれの特技を活かして小物づくりをしたり、有志で料理を作り配食などに取り組めるのではないかな。また、緊急避難時も安心して使うことができるだろう。

海外区における地域踏査の概要

ソフト面（人々の暮らし、助け合いの仕組みなど） 住民ヒアリング

1	○海外区のいいところは、自然環境。散歩しに海へ行く。 ○（家族が）近隣2軒位といい関係を保っている。手作りのピザや、節分には恵方巻きをふるまっているようだ。 ○防災の日には、近隣の草原に集まって訓練をする。消防署の指導があり「質問はありますか？」と聞かれるが、なかなか質問が出ないので、少しもったいないと感じている。 ○地域の困りごととして、国民年金生活の高齢者が多いため、有料ゴミ（500円）の処理費用が負担になるのではないかと感じている。 ○地域でサロンがおこなわれていることを知らなかった。実は、長く一般市民を対象としたレクリエーション指導員をやっていたが、これから新たに人と関わる機会を持つことに抵抗感がある。今は、家族以外に会社のOB、市外の友人などとの交流の機会がある。 ○区の防災の役員を務めている。いざというときに、連れて逃げる世帯が割り振られている。自分自身が70代後半なのに、誰かおんぶして行けというのか？また、割り振られた家の人は直線距離で30m位ある。一度挨拶しに行ったが、知らない人だった。高齢者ばかりの地域で、この避難手段が機能するのか不安である。ちなみに、この方法で防災訓練がおこなわれたことはない。 ○連れて逃げなければならない世帯の人は、80代の男性。同居家族がいるが、いつでも家にいるとは限らないため、担当になったようだ。
2	回答者2名 ○現在空き地になっているところにお宅があったころはよかった。7~8人でよくお茶をしていた。引越したり亡くなられたりしてその機会がなくなってしまった。今、近隣には働いている人も多い。 ○困りごととしては、振り込め詐欺の電話が掛かってくる。子どもの連絡網が出回っているようだ。 ○近所に物を燃やしているお宅があり、困っている。市や消防へ情報を伝えているが、解決は難しい。 ○元気なのに毎日のように病院に通っている人を目にする。 ○サロンについて知らなかった。海外会館までの道が悪く、歩きにくい。 ○主人はほとんど外出しない。 ○妻はパスモを使って通院などどこまでも出掛けることができる。また、家庭菜園があり忙しい。 ○今後の海外区について。若い人に住んで欲しい。また、若い人に結婚して欲しい。結婚していない30~40代の人何人も暮らしている。

	○主人は、昔三崎下町に住んでいた。下町では、魚を近隣の漁師からもらったり、海で泳いだりと、いいイメージが強い。
3	○通院など用があれば、娘たちが連れて行ってくれるので、困っていることはない。 ○サロンを知らなかった。膝が悪く、坂が大変なので行けないと思う。
4	○近くに住む娘と孫が週1・2回顔を見せに来てくれる。 ○小さい畑をやっている。以前腰を悪くして全く手入れできなかったときに、近くの方が大きな雑草をとってくれた。 ○近所の人や知人が「何かあれば言って」「お使いある?」「たくあん作ったから食べて」など声掛けしてくれる。いい支え合いの関係がある。 ○医療生協の支え合いがある。以前は、年1回海外会館で健康診断をやっていた。以前は自分も協力して医療生協の機関紙を配っていたが、今は隣の区の人に代わってもらった。三浦市における医療生協の年金加入者の集まりが年に数回あり、参加している。 ○サロンについて詳しくは知らなかった。坂がきついので行けないと思う。 ○困りごとについて。今のところ入ることができるが、お風呂の浴槽が深いことが心配。 ○困ったときは相談できる人がいる。ケアマネジャーや民生委員など。また、自力で動くことができないときはタクシーを利用する。買い物は、主に娘がしてくれるが、生協も利用している。 ○交通の便が悪い。通院には、京急ストアの巡回バスを利用している。必ず買い物もするようにしている。 ○今後の希望について。まず、バスを簡単に利用できるよう、近くに停留所があるといい。 ○別の地域から引越してきた人が積極的に役員をやってくれる。いいことだと思う。でも、区についてわからないことがあると思うので、周りの住民が支えてあげることが大切だと思う。
5	○古くからここに住んでいる。海外区のいいところは、近所の方が様子を見に来てくれたりして、何かと助けてくれる。支え合いがある。特に、下町の方と付き合いがある。 ○自分より上の代の人の間では、近所でお茶を飲んだり、歌を歌ったりするような集まりがあった。周りの人が亡くなり、その集まりもなくなっていった。 ○ごみステーションの管理について。交替で、ごみステーションを掃除している。ただし、80代以上の方は大変だと思うので、当番から外している。 ○以前、近隣の高齢者が「家から近いごみステーションにゴミを持って行ったら、嫌な顔をされた」と話していた。確かに、本来捨てるべきところではないかもし

	れないが、ゴミ捨てが便利になるといい。 ○道を歩く人は少ないが、挨拶するようにしている。 ○困ったことがあったときは、組長・区長・市役所へ相談している。例えば、街灯について相談したことがある。 ○周りに空き家が増えてきた。居住者が亡くなった後、取り壊されて空き地になったところもある。人が少なくなるのは全国的なことだと思うが…。
6	○海外区のいいところは、静かなところ。 ○近隣で支え合っていることは特にない。 ○今は京急ストアやクリエイトへ歩いて買い物へ行っているが、もう少し年をとると買い物が大変になると思う。 ○今後の海外区に望むこと。高齢化が進み、空き家も増えている。立派な空き家が多く、もったいないと思う。空き家が多いと気分も落ち込んでしまうので、活用されればいいと思う。 ○また、子どもの声が聞こえない。静かではあるけれど、反面寂しさもある。
7	○老人会に加入している。引越してきた当時は、よく活動に参加していた。 ○サロンが実施されていることは知っている。参加してみたい気持ちはある。 ○老人福祉保健センターを利用している。日曜日に社交ダンス教室があり、利用しているが、日曜日は専用バスが出ていない。歩くと40分位かかる。他の利用者と「日曜日にバスがあるといい」とよく話している。 ○老人会で集まると「お茶会をやろう」「私の家を使っていい」といった話になる。実現するといいと思う。 ○天神町には老人会がない。天神町の人「あるといいのに」と話していた。
8	○近所の人がいたら挨拶するようにしている。 ○防犯のため、相手の電話番号が表示されるように設定した。また、向かいのご家族は「何かあったら助ける」といってくれる。また「もし雨戸が開かなかったら息子に電話して」と頼んである。近隣住民や民生委員と防犯について情報交換している。 ○サロンを知っているが、参加したことはない。 ○以前、近所で亡くなった独居高齢者がいる。通所の介護サービスを利用していたが、自宅で倒れてから発見されるまで1日以上かかったようだ。近所の人もよくその高齢者の様子を見ていたが、たまたま見守りの目がない時間があったようだ。危機管理の体制が不十分だったのではないかと。介護サービスを利用している、必ずその利用者について詳しいヘルパーが訪問する訳ではない。そのため、本人が自宅で倒れていても「外出のため不在」と捉えられてしまう危険性がある。
9	○風が強い地域。冬は特に風が強くて困ることがある。

	○二町谷の埋め立て地にはコストがかかっている。観光産業は、湘南鎌倉に行く人が多く、お客さんが来ない。三浦市の将来を案じて、子どもたちを横浜や東京都に就職させる親が多い。 ○近所は皆年をとった。全国的に「地方」といわれるところはそうだが、地域の皆で活動しよう・住民運動を起こそうという気風にならない。 ○年をとるのはやむを得ないこと。「年寄り皆で歩こう」などと市全域でいってくれば、生き活きと元気に過ごせると思う。 ○サロンについて知らなかった。タイミングが合えば参加してみたい。
10	回答者 2 名 ○海外区のいいところは、高台と、自然が豊かなところ。いい風が吹いている。 ○近所の仲がよく、昔から支え合っている。1 人していると、声掛けしてくれる。こういった声掛けから、どれほど元気をもらっているかわからない。 ○治安もいいと思う。ただし、気軽に子どもたちに声を掛けられない時代になってしまったと思う。 ○私は後から引越してきたが、近所の人々が地域のことを教えてくれる。団結力があると思う。生活していて困ったことは今のところない。 ○これからも、助け合いが大事だと思う。65～75 歳位の若い人が活動してくれるといいと思うが、大体はお勤めしているので、なかなか難しい。 ○サロンについて知らなかった。介護予防の場に興味がある。
11	○バスを利用する。天神町のバス停まで徒歩 10 分以上あり、遠いと感じる。 ○生活上困っていることは今のところない。 ○趣味は園芸。夫婦で取り組んでいる。 ○近所で集まることはあまりない。 ○今後の海外区に望むことは特にない。
12	回答者 2 名 ○海外区のいいところは特にない。普通だと思う。 ○バス停は天神町か三崎東岡を利用するが遠いと感じる。もう少しこの近くまで、循環バスなどが通っているといい。
13	○この一帯は、同じ地区から引越してきた人達に住む地域で、昔から仲がいい。めめごともなく穏やかに過ごしている。 ○坂道が少なければもっといいと感じるが、特に困っていることはない。 ○足が不自由な人が多く、坂の上り下りが大変。タクシーで移動している人も多い。 ○組長など区の役員になると、下町の住民とも交流はあるが、昔から上町と下町の住民間で交流がない。ただし、それによって不自由があるわけではない。
14	○海外区のいいところは、特にない。 ○でも、この辺り一帯の住民はとてもいい。他の地域に住む人からも羨ましがられ

	る。 ○三浦市は、閉鎖的なところ。昔は「よそ者」「女のくせに」といわれてしまうので、何かと発言しづらかった。区の中でも年齢層が異なるため、ものの考え方が違い、区のことについて発言しづらかった。今はそういう考え方の人はいない。 ○三浦市のゴミ収集の仕方のルーツは海外区。昔は山などに生ごみを捨てていたが「衛生的でない」と住民や近隣の医師などが立ち上がり、陳情へ行った。「皆で何とかしよう」という気風があったと思う。 ○今後の海外区は、今のままでいいと思う。三浦市全体が寂しくなっているので、よくなって欲しい。主要な道路が1本しかないから、難しさがあると思う。主要産業の農業・漁業が一体のものとして進んでいかない。傾きつつある地元を自ら支えたいと考える若者もいない。この町を離れてしまう。 ○三浦市内にデイサービスなどたくさんできているが、これでいいのだろうか？と感じる。特別養護老人ホームなど軽い負担で入居できる施設は順番待ちだと聞くと、実際のところはどうかだろうか。自分でたくさんのお金を用意できないため、もし施設に入ることができなかったら、家の中を這っているしかないのでは？と不安。 ○自分でも、脳トレをしたり、刺繍をして手先を動かすようにしている。 ○通っているデイサービスの職員に、「待ち時間に皆で歌いたい」と相談し、実現した。「やっていい」といわれたときは嬉しかった。自ら歌詞カード（右図）をつくり、CDを用意した。待ち時間に女の人はおしゃべりするが、男の人はずっと黙っているのが気になっていた。年をとったら、皆で歌ったり、会話しなければならぬと思う。 ○今は、困りごとはケアマネジャーに相談している。デイサービスに通うかどうか迷ったときや、「皆で歌いたい」と考えたときもよく相談した。 ○海外区や、それ以外の地域でサロンがおこなわれていることを知らなかった。もっと情報を発信して欲しい。 ○近所の付き合いとして、色々な人を誘ってコーヒーを飲みに行きたいと考えているので、実現したい。自宅でやると、相手に気を遣わせてしまう。 ○人間関係ができあがったところに、後から入るのは難しいし、人にも強いいたくないと思う。もし、新たに入ってくる人がいたら「いらっしやい」と迎え入れたい。	
15	回答者2名 ○海外区のいいところは、景色。海から富士山が見える。 ○近所で集まって何かすることはない。 ○海外区には子ども会がない。自分が子どもの頃はあったが、今は子どもを通した	

	付き合いがない。 ○老人会の付き合いについて。下町の方には結び付きがあるが、その集まりに上町の人達は呼ばれない。 ○皆で一緒に何かするということがない。昔から住んでいる人はいいが、あとから引越してきた人は入る余地がない。ただ、古い考え方の人は亡くなり、どんどん考え方が変わってきたと思う。 ○困っていることとして、役員になる人がいないので、押し付け合いになってしまっていることがある。 ○地区全体の交流機会がない。「皆仲良く」といっても難しいと思うが、以前違う地域に住んでいたときと比べると、ものたりなさを感じる。 ○地域のサロンに出掛けたら、「人がいっぱい」という理由で断られてしまったことがある。 ○最近、救急車が毎日のように家のそばを通っている。 ○今後の海外区は、仲良く助け合っていける地区になるといい。 ○もっと開けた地域になって欲しい。
16	小学生の登下校の見守りをおこなう男性 1 名（他の区に在住） ○毎週決まった曜日の見守りをおこなっている。上級生と下級生は帰る時間帯が異なるため、下校時の見守りを前半と後半に分担して 2 名で実施している。ここは、主に尾上町と海外区の子どもたちが通る場所。 ○教育委員会としては、退職した先生方やおまわりさんを見守りのメンバーとして想定しているのだろうが、なかなか担い手がいらない。自分もそろそろ 80 歳になる。子どもたちが大事でやっているが、万一のことがあったら「80 歳にもなってやっていたから」といわれるおそれがある。やりがいがあり、できるだけ続けていきたいが…。 ○冬の暗いときに、小学生だけで下校するのは危険だと思う。 ○最近通学路（道路の塗り分け）ができた。それまでは、真ん中を歩いている子どももいた。自分も注意を呼び掛けて、危険を避けて欲しいと思う。 ○今見守っている子どもたちに、今後は、自分たちが支えてもらう立場になる。事故なく過ごして欲しいと思う。 ○地域の中で、どのように支え合えばいいのか考えなくてはならない。住民も社会福祉協議会も同じ目標を持っていると思う
17	○日当たりがよく、花の育ちがいい。 ○野球や相撲観戦、蘭展に出掛けたり、家ではタブレットや電子辞書の脳トレゲーム、園芸をしている。多趣味で行くところがたくさんあるため、地域の集まりには参加していない。 ○買い物には歩いて行く。飲料など重たいものを買うときにはバイクで出掛ける。

	○年1回市の健康診断に行っている。無料だが、脳ドックは1万5千円かかる。6千円程度の負担で受けられる自治体もあるようだ。 ○三浦市全体について不安に感じている。消滅可能性都市で、借金もある。埋立地も売れていない。 ○三浦市は食品などの物価が高い。 ○昔の話だが、三浦市民の意識調査で「よそ者はよそ者だ」という結果が出ていたことがある。今はそういう考えの人はいないと思う。 ○今後の海外区に望むことは特にない。
18	○近隣は皆忙しく、留守にしがち。それでも、親切にしてくれる人が多い。「雨が降ってきたよ」と教えてくれる。互いに支え合い、住むにはいいところだと思う。 ○足が悪いから、自分一人ではほとんど外出しない。買い物は、娘がやってくれる。また、孫の嫁が病院や外食、買い物に連れて行ってくれる。 ○2階が台所。階段を降りてくるのが大変。足腰が痛くて、ほぼ1日座っている。 ○足が悪くても、少しでも歩かないといけないと思う。歩くと、夜しっかり眠ることができる。 ○地域包括支援センターおまかせのケアマネジャーに福祉用具について相談し、早速シルバーカーを導入した。これでデイサービス施設内の移動が楽になると思う。 ○何かあったときに、近くに集まれる場所があるといい。海外会館は、組長など役員をやっているときは集まることがあった。最近は、行こうと思っても遠くて大変。
19	○近所に、自彊術を通して仲良くなった仲間が6名ほどいる。自彊術は週1回勤労市民センターに通い、習っている。その仲間と、うちに集まってお茶を飲んだり、おかずを持ち寄って一緒にご飯を食べたり、刺繍やパッチワークをする。 ○自宅を開放してサロン活動をおこなっている人がいることを知らなかった。集まって介護予防をすることに興味が湧いた。6名の仲間はすぐに集まると思う。 ○今のところ困りごとはない。買い物は歩いて行く。鈴木水産まで歩いて行くこともある。主人も元気にしている。釣り友達がいて、よく浜辺で一緒に過ごしている。 ○近くに息子家族が住んでいて、「ゆったり過ごして欲しい」といってくれ、とてもよくしてくれる。 ○近所の友人宅の庭を、息子と一緒にお手入れをした。 ○望みとしては、住民が集まることができる会館が近くにあるといい。

	○昔は童謡の会に参加していたが、会場が遠く、通わなくなった。 ○近所のごみステーションと道路がとても狭いので、プラスチックとペットボトルは、自分の家の駐車場のスペースを提供し、捨てられるようにしている。
20	○お店や病院が遠い。 ○特に困っていることは、古着の処理。三浦市のファイバーリサイクルは、白石町の婦人会館まで持って行かないといけない。ここから徒歩で20分位かかる。また、坂が多い。タクシーで往復すると1,500円位かかる。毎月ではなくても、近くのごみステーションで回収してくれると助かる。「車を出そうか?」といってくれる友人もいるが、毎回迷惑を掛けるのは申し訳ない。布団は有料で持って行ってくれるのに、洋服はなぜこの回収方法なのだろうか。一人暮らしだとどうにもならない。 ○昔、不用品を狙った業者から電話があった。周りからは「必要以上に物を持ってかれてしまうおそれがあるから、一人のときは受けてはいけない」と注意されている。 ○市の放送について。音は聞こえるが、内容がわからない。市役所へ状況を説明し、一度来てもらったが、何も変わらなかった。窓を開けてもわからないので、天気の良いときは近所の人に「何を言ってた?」と聞きに行く。悪天候のときは聞きに行けないので、市へ電話して教えてもらうが、悪い感じがする。 ○買い物には、散歩がてら自分で歩いて行く。一定金額以上買うと配送料が無料になるサービスを利用している。近所の人「一緒に行こう」と誘ってくれることもある。通院にはタクシーを利用する。 ○友人に恵まれている。うちの草刈りをしてくれた。 ○元気なうちに入所する施設を決めたいので、見学に行っている。自分は要支援にもなっていないので、高額な施設しか選択肢がない。長生きしたらとても払いきれない。介護度がつけば、利用できる施設もあると思うが…。 ○不安なことがあれば、友人と話し合う。しかし、夜間にふと不安になるときがある。さすがに夜間に友人を起こすわけにはいかない。 ○以前暮らしていた地域の友人と交流がある。趣味の和裁を通じて仲良くなった。週に1回はそこでご飯を食べてくる。具合が悪く参加できないときも、電話をくれる。 ○この辺りは、一人暮らしが多い。仲間とお茶を飲んでいると、1日がすぐ終わる。ただし、性格が合う人・合わない人や内輪だけで楽しみたい人もいるので、配慮が必要だ。



	○近所の人と仲良くなったきっかけは、自彊術に誘ってくれたこと。そこから、洋裁を教えたり、一緒に作品を作るようになった。さらに、ご飯を一緒に食べたりする。おしんこや家庭菜園でできた野菜などを持ち寄っている。皆で食べるとたくさん食べることができる。 ○昔住んでいた地域では、ジムやプールに通っていた。交通の便がよければ通いたいと思う。今は、生協 2 階でおこなわれているセラバンド教室に通っている。
21	○引越してきて 10 年位。静かなところだと思う。一人暮らしが多い。 ○あまり地域にはなじんでいないと思う。新しい人が多く、交流機会がさほどない。近所付き合いはしていない。 ○5 年に 1 回位、組長の役割が回ってくる。 ○困っていることは特にない。 ○お茶に呼ばれない。「おいで」といつてくれる人がいない。また、自分が「上がって行け」と誘っても人が来ない。昔は縁側があって、気軽にお茶をしていたと思う。 ○市そのものがそういえると思うが、あまり開かれていない地域だと思う。三浦市在住歴は長い、「未だによそ者なのか？」とってしまうことがある。 ○組長になったとき、組の人達は顔合わせしたが、区長のことは知らなかった。今の区長もどんな人なのか知らない。 ○尾上町シニアクラブに参加している。尾上区は、方々から引越してきた人の集まり。選挙の投票所が尾上区の自治会館だったということもあって、参加するようになった。今は、毎週参加している。家にいると食べて寝て草刈りをするくらいなので、軽い体操があるのがいい。また、歩いて行けるところでないと通えない。 ○カラオケに惹かれて、浜諸磯の老人福祉保健センターに行ってみた。しかし、お風呂が 13 時に終わってしまう。今は、クアーズ MISAKI (銭湯) に毎日通っている。 ○太極拳をやってみたいが、どこでやっているのだろうか？趣味の活動の情報が入ってこない。 ○70 代中頃まで働いていたので、60 代のときに老人会に誘われたときは、自分が老人だとは思わなかった。 ○「集まれる場所が欲しい」という意見をいいながらも、実際には集まらない人も多いと思う。
22	○引越してきて 1 年位。静かでいいところ。暮らしやすい。 ○三崎下町は朝市でにぎわっていて、色々な地域から車が来ている。ここは静かだが、少し海の方へ出るとにぎわっている。 ○友人と海へ行ったり、釣りをして楽しんでいる。 ○引越してきた当初、組長が、一緒に組の中の全世帯を回って挨拶してくれた。お

	かげで顔合わせができた。 ○困りごとは特にない。 ○周りに空き地が多い。雑草が生い茂っているのは見た目によくない。今は問題ないが、防犯上心配になる。 ○夜は静かで、街灯が少ないが、今のところ困っていない。 ○今後の海外区は、住民が増えるといいと思う。
23	○近隣は、お互いの顔を知っている。近くにお年寄りが多く、助け合って生活している。自分も「病院に行くとき送るね」などと声を掛けている。 ○区として集まることはほとんどない。勤めている人が多く、あまり集まることはない。周りでちょっとお茶を飲んだりする関係はあるようだ。 ○困りごととしては、買い物が不便。ジュース 1 本買おうにも、自動販売機まで距離がある。お年寄りには不便かもしれない。小さい子どもがいるお宅は生協を利用している。 ○避難所について。近隣の間では「近くの空き地に集まろう」と話している。正式な避難場所は三崎小だが、一度低いところに下りないとたどり着けない。 ○誰が民生委員なのかわからない。相談できる人が誰かわからない。 ○今後の海外区に望むことは特にない。海外区は何もないところなので、このままだと思う。
24	○海外区のいいところは、近所の人がよくしてくれるところ。具合が悪くなると車を出してくれる。 ○不便なところは、道が狭いところ。車で入ることができない。 ○移動には主に、バスやスーパーマーケットのバスを利用する。たまに主人が車を運転する。 ○生協のセラバンド教室に通っている。また、初声市民センターでちぎり絵を習っている。毎年 10 月に展示会があり、それに向けて作品を作っている。ちぎり絵は、人にあげると喜んでもらえる。 ○今後の海外区に望むことはわからない。この辺りから行きやすいところに避難場所があるといい。
25	○海外区のいいところは、近所の人が仲良くしてくれるところ。住みづらくない地域だと思う。 ○一人暮らしだが、周りがいい人なので、困っていることはない。 ○犬がいるが、散歩にも適している。

26	○海外区のいいところは、車の通行量が少なく、静かなところ。環境がいい。 ○隣組の役員をやっている。若い人が少ない地域。 ○すぐそばに京急ストアやバス停まで近道となる、きつい階段がある。よく、階段を登りきったところにあるコンクリートに腰掛けて休んでいる人とお話する。 ○生協を利用するが、それだけでは足りないのので、スーパーマーケットの送迎バスを利用して買い物に行く。 ○海外会館が海のすぐ近くで、低いところにある。駐車場もない。コミュニティスペースとしてはいいが、いざというときに役に立たないのではないかと？上町にも集まれる場所があるといいと思う。	
27	○海外区のいいところは、のんびりしているところ。近所の人がうるさいなどと困ったことがない。仲良くしている。 ○皆少人数で暮らしているので、作ったおかずなどをやりとりしたりする。 ○近所の人、車で夕方「散歩に行こう」と誘ってくれるので、一緒に出掛けることがある。 ○区として集まることはほとんどない。 ○移動には大体バスを利用している。最寄りのバス停まで5・6分ほど。 ○困りごとはない。これからも、こんな区であって欲しい。	
28	○海外区のいいところはあまりない。 ○他の組との交流はほとんどないが、組の中では野菜をおすそ分けをしたり、逆に釣った魚をいただくことがある。 ○年1回海外会館において海外区の総会があり、正副組長が出席する。また、月に1度は配布物や回覧用のものを取りに行く。 ○地盤の関係で街灯が倒れかけている。 ○近くの斜面は、急傾斜地区の災害防止用の土止め工事をしてもらえていない。市役所に聞いたところ「高さが足りない」とのこと。そのそばの高さが足りている斜面は土止め工事が完了している。 ○家の近くの階段は、青地と個人の土地が入り組んでいるので、大規模な補修工事ができない。石積みが壊れてしまったお宅があるが、個人的に直したようだ。 ○家までの道のりに階段があり、車を止められない人がいる。 ○今後の海外区に望むことは、特にない。	
29	○今はほとんど家にいないため、近所との付き合いがない。 ○海外区は住むにはいいところだと思う。 ○家の前が坂道と階段。リハビリデイサービスの職員が玄関まで迎えに来てくれる。杖と介助で階段の下まで歩くが、雨の日はリハビリを休まざるを得ない。	

	○買い物がちょっと大変。いつも、主人が仕事帰りに買い物してくる。 ○主人が庭の手入れや家庭菜園をやっている。
30	○隣近所の助け合いがある地域だった。家の周りの草刈りを手伝ってもらっていたが、ここ何年かは実施していない。 ○今も、隣近所と顔を合わせれば挨拶する。以前住んでいた地域は隣組同士で集まって、あれこれ話し合っていたので、それと比べると近所付き合いは少ないと思う。今住んでいるところは、新しく引越してきた人もいる地域。よく知らない人もいるため、新たに関係を構築するのは少し怖いと思う。 ○それでも、組の中でごみステーションについて話し合い、必要な備品を買うことになったり、物事を決めることができる力がある。 ○家の前の坂と階段について。1日に5往復くらいするが、傾斜が急で大変。草木が生い茂っている。以前は近隣同士で草刈りしていた。最近は近隣も高齢化しているので、本当は区で対応して欲しい。 ○近隣に高齢者が多い。自分はまだ大丈夫なので、車を運転して夜送り迎えしてあげることもあるが、街灯が暗くて心配になる。天神町や栄町にあるお店も閉まるのが早く、子どもたちの夜道が心配。
31	○海外区のいいところは静かなところ。気候もいい。 ○隣近所とはあまり交流がない。自治会で役割が回ってきたらやる程度。周りの役員は親切にしてくれた。数年前、役員を決めるのに苦労した。 ○困っていることは特にない。 ○最寄りのバス停までは7分程度。 ○一人暮らしの高齢者が多い。 ○自分のペースで健康づくりをするために、電車やバスを利用して民間の体操教室に通っている。
32	○海外区のいいところは、特にない。 ○困っていることは、夜道が暗いこと。治安が悪いという訳ではないが、夜1人で歩くには静かすぎて怖い。
33	○近所の人をよくしてくれる。 ○困っていることは特にない。海外区は、このままでいいと思う。
34	○海外区のいいところは、緑があって静かなところ。最近、昼間でもカラスがうるさくて困っている。 ○どうしても用があるときなど、隣近所の人のごみステーションの清掃を代わりに引き受けてくれる。 ○近くに元看護師がいるため、自身のちょっとした体調不良について相談することができている。 ○困っていることは特にない。

	○外出するにはバス停が遠い。また、浜諸磯から三崎口に向かうバスが、以前は 30 分に 1 本出ていたが、今は 1～2 時間以上バスがない時間帯がある。 ○三崎港や三崎口までのバスが便利になるといい。乗る人も少ないけど、例えば小型のバスにして運行してくれるといいと思う。
35	○海外区のいいところは、静かなところ。 ○近所とは何の問題もなく過ごせている。近くに子どもの同級生がいるので、遊んでいる。 ○子ども会がないので、海外区の子どもたちは尾上区や諸磯区など、他の地区の子ども会に加入している。 ○もしも、海外区で子ども会をやるとなると、対象者が少ないので、毎回の負担が重くなり運営が大変だと思う。例えば年 1 回の夏祭りに協力するくらいなら問題ないと思う。 ○海外区は、少しずつ子どもが増えてきている。子どもは多い方がいい。 ○自治会について。勤労世代は、子育てなどで大変。できれば、退職した人が役員を担ってくれるといいと思う。 ○尻っぶり坂の通学路の塗り分けは平成 29 年になってできた。 ○尻っぶり坂には、車から歩行者が見えづらいところがある。ほとんどの車は一時停止して通行するが、スピードを出したまま通行する車もいる。危ないので必ず周囲を確認して欲しい。
36	○あまり近所とはお話をしない。集まって話したり、何かするということはない。 ○この辺りは、元気で自立した生活を送る人が多い。自分も年齢の割には、車を運転して買い物に行くなど、あちこちに出掛けている。 ○組長になったときは、区の集まりに参加し、顔を合わせた人と雑談したり、挨拶する。
37	○海外区のいいところは、のどかなところ。それから、昔ながらの風習が残っているところ。例えば、お醤油を借りたり、ご飯を分けてもらったりすることがある。都心ではこういう場面はないと思う。 ○困っていることは、よそから来た人を受け入れてくれないところ。自分たちのことしか考えていないお年寄りが多い。夜は回覧板を回さないで欲しいといわれたことがある。昼間勤めている人の都合を考えて欲しい。こういった課題が改善されるといいと思う。
38	○ご近所とは、食べ物のおすそ分けをお互いにすることがある。例えば、あさりを取りに行ったので分けてあげた。また、とれた野菜をいただいた。 ○困っていることは、家の前の道に排水溝があり、車が蓋の上を通行するときうるさいこと。直るといいと思う。 ○子ども会がない。でももし、海外区の子ども会ができたとしても、参加できるか

	わからない。 ○お祭りやイベントもない。東岡区の夏祭りに行く。
39	○老人会に入っている。老人会では、何か企画しようとしても「足が痛いから行くことができない」といわれてしまうことがある。区の中で何かやろうにも、いろいろあって参加してもらえないと思う。 ○主人はTVを観たりラジオを聞いたりして過ごしていることが多い。 ○尻っぺり坂に面している階段から転んだ高齢者がいる。 ○基本的に買い物はリュックサックを背負って歩いて行く。最寄りのスーパーマーケットまで片道15分位。いい運動になっている。クリエイトは3,000円以上買うと100円で運んでくれる。 ○今後の海外区に望むことは、区の集まりや老人会など、もっと皆さんが活発に参加してくれるといいと思う。
40	○海外区のいいところは、自然に恵まれているところ。散歩したりする。 ○近隣の支え合いはほとんどないと思う。皆でまとまって何かをするということは、ごみステーションの管理くらいだと思う。1週間交代で掃除をしている。きれいに保つことができている。 ○自然と暮らすことができているので、困りごとや望みは特にない。
41	○海外区のいいところは、海が近いところ。よく遊びに行く。 ○近所付き合いは、挨拶をする程度。 ○困っていることは、コンビニエンスストアや自販機が遠いこと。最寄りのコンビニエンスストアまで徒歩7分位かかる。
42	○海外区のいいところは、景色。 ○困っていることは、家の前の道が細いが、すごい速さで通行する車がいること。現在「警察や市役所に相談したらいいのではないかな？」と組長らと話し合っているところ。 ○高齢者が多く、子どもが少ない地域。心配なので、よく近所の一人暮らしのおばあさんの様子を見に行っている。 ○今後の海外区に望むことは、特にない。今のままでいい。
43	○他の地域を知らないが、住みやすいところだと思う。自分が小さい頃から知っている人が多い。新しい人も増えたが、特に問題なく過ごすことができています。 ○困っていることは、家の前の道が狭いこと。30年ほど前、どん詰まりだった道が他の道につながってから、家が建つようになった。車が通るようになったことで車の通行時の揺れが気になる。また、通行人がいるときに車が一旦停まって待機できるスペースがない。それでもスピードを出して通行する車もいるので、子どもの通行時は不安になる。 ○今後の海外区に望むことは、大きな不満もないので特にない。

44	○隣組は協力できている。ゴミ捨ての時間に井戸端会議をしたりする。 ○上町は、新しく引越してきた人が多い。下町には、昔から住んでいる人が多い。 ○組長になったときは、区の集まりに参加する。 ○今のところ困りごとは特にない。多少の不便は仕方ないと思う。年金暮らしの高齢者が多く、声を掛け合って暮らしている。 ○今後も、向こう三軒両隣で上手く支え合っていければと思う。
45	○海外区はいいところもないが、悪いところもない。困りごとも特にない。 ○今後の海外区に望むことは、特に思い浮かばない。
46	○近所とは挨拶程度の付き合い。 ○お年寄りが多いので、声を掛けられたら手伝うようにしている。車を出したり、草刈りするなど。 ○困っていることは、特にない。昔から交通の便は悪いから、仕方ないと思う。 ○自分自身は、レース編みや買い物など趣味があって過ごしているから、暇ではない。 ○海外区は、貧乏で何も無い地域。例えば諸磯区は、子ども会で海の近くの駐車場を運営している。また、区の人は無料で利用できたと思う。そういった収入源や、遊ぶところがない地区。
47	○海外区のいいところは、静かなところ。子どもが少なく、道路から離れている。 ○月1回諸磯海岸の清掃活動に参加している。主に、諸磯付近在住の60代前後の人が参加している。 ○自分は別荘として、月に3週間程度ここで暮らしている。区における交流はほとんどないが、町内会には加入している。 ○困っていることは、野良猫が多いこと。家庭菜園を掘り返したり、芝生にフンをされる。餌をあげている人がいるようだ。神奈川県には、野良猫に餌をあげてはいけないという決まりはないようだ。 ○今後の海外区は、きれいな地域になって欲しい。犬猫のフンやゴミが落ちている。また、草だらけの場所が多い。本来区として年に何回か草刈やゴミ拾いをやって欲しいと思う。しかし高齢者が多いため、実現は難しいと思う。行政に対応して欲しい。
48	○勤めているので日中いない人が多い。近所とは、会えば挨拶をする程度の付き合い。人の家庭にも入り込まないし、これが普通だと思う。 ○今後の海外区に望むことはあまりない。
49	○全体的に、昔はよかった。すぐそばの海に、マグロ船がたくさん泊まっていた。今はマグロ船がない。三崎の人も減っている。よそへ移ってしまったのだろう。 ○近所の人はいずれも親切にしてくれる。ゴミ捨てのついでに皆で集まって話をする。一人暮らしの高齢者が多い。

	○自分は、免許を返納している。外出は家の近所くらい。三崎の浜に船員の会員組合があり、そこで年金のことなど用事を済ませたり、話をしたりする。 ○困っていることは、今のところない。電話を掛ければ近隣市に住む子が駆けつけてくれる。土日には孫も顔を見せてくれる。 ○アクセスが不便だから、人が引越してしまうようだ。 ○今後の海外区に望むことは、今はない。皆自分勝手に生きている。近所付き合いも深くはしていない。
50	○皆マイペースに生活している。 ○海外区は静かだと思う。 ○ここ最近、蜂が多いと思う。市で予算をとって対応して欲しい。 ○海外区にはお祭りが無い。お祭りが無いことを理由に海外区に引越してきた人もいます。お祭りのような行事があればいいという意見もある。 ○区としてのアイデンティティがないと思う。お祭りなどの行事を実施すると、協力し合う関係づくりができるなど、いい面もあると思う。「今は忙しいけど、○年後なら役員になることができる」など、お互いに都合をつけることができる関係になったらいい。 ○一人暮らしの高齢者が多く、人口が減っている。これからどうしたいのか？色々な意見の人がいると思うが、多様な意見が反映されるようになるべきだと思う。皆個人的には思いを持っているので、議論できればよいと思う。あらゆる立場の人が「こうしていきたい」という思いを持ち、市役所職員とともに話し合うことができればよい。 ○若い人が三浦市に住み続けない理由を直接聞いてみたことがある。「三浦市は、温暖で食べ物もおいしいけど、例えば、マグロを食べようと思っても高くて食べることができない。」と話していた。 ○今後の海外区に望むことは、皆で自治について考えたい。今のまま静かな地域を皆が望むならそれでもよいが、これからは、若い人たちの意見を中心にやらせていくのがよいのではないかな。だけど、若い人たちになかなか関心を持っていただけないところが悩みである。
51	○三浦市のいいところは、コンパクトに、自然環境や生活に必要な店などが揃っているところ。「車を運転していて気持ちがいい」と主人もいっている。 ○フジスーパーは、毎週火曜日に日用品の価格が10%オフになるので、よく利用していた。また、フジスーパーのバスは、屋志倉のバス停のあたりに停車する。家から歩いて2～3分位なので、よく利用していた。最近は、車でaveに行くことが多い。 ○自身はあまり参加していないが、町内会はよくやっていると思う。転倒防止の教室を開いたり、防災に力を入れている。高さがあるので、津波は問題ないと思う。

	一昨年まで火災の訓練をよくやっていた。組の訓練の場として、自宅の庭を提供していた。訓練の内容は、バケツリレー、消火器や AED の使い方、三角巾を用いた手当など。20 名程度の参加があった。他の組も銘銘に訓練してきたが、平成 29 年 11 月には区全体で避難訓練をおこなうそうだ。高齢者や体の不自由な人をつれて逃げるができるのかが大切だと思う。 ○普段は家で過ごすことが多い。草刈、工作、手芸、家にあるもののリメイクなどをする。主人は自宅に機材を入れて、毎日カラオケをしている。以前浜諸磯の老人福祉保健センターに行っていた時期もあるが、カラオケの順番が 1 時間に 2 回程度しか回ってこなかった。 ○三浦市は、土日はどこも混んでいるので、用事は平日に済ませるようにしている。 ○困っていることは、家の前の道路の幅が狭いこと。自分たちも車で出づらいが、家の前まで緊急車両が入れないほど狭い道もある。 ○また、ごみステーションが道路上に設置できないため、個人の土地をご厚意で使わせてもらっている。そういったごみステーションが何か所かある。 ○車が同じところを通るので、轍に沿って穴が開いてしまう。凹凸でつまずいたり、水がたまる。市土木課へ修理を依頼すると直してくれるが、すぐに壊れてしまう。 ○車とすれ違うと危険なので、車の通らないタイミングを見計らってゴミ出しに行くようにしている。 ○車の通行量が多いのに、道路は何十年も前のまま。 ○畑の周りの道路に車を停めたまま作業をされると、車で通りづらい。 ○新しい家は、新しい建築基準を守って建ててくれる。古くからある家は、その基準に則していないことが多い。例えば、道路の中心から 2m 以内に家を建ててはいけないという決まり。どうしようもないが、そのため道が狭くなってしまっている。
52	○海外区のいいところは、静かなところと、海が近いところ。海へ遊びに行くこともある。 ○後から引越してきたので、近隣住民との交流はあまりない。普段仕事をしているので、日中不在にしていることも多い。 ○困っていることはない。スーパーマーケットまで距離はあるが、車で移動するので問題ない。 ○今後の海外区は、いざというときに助け合っていける地域になって欲しい。自身も、災害時に困っている人がいたら手を貸したい。
53	○海外区は、いいところ、いい人ばかり。静かなところ。 ○あまり地域の集まりには参加していない。 ○膝が悪く、困ったときは病院で相談している。主人が大工なので、家の中に手すりを作ってくれた。介護保険を利用しなくても、自分のことは自分でできている。

	○主人は盆栽や庭の手入れをして過ごしている。 ○日曜は夫婦で買い物に出掛ける。それ以外出掛けることはほとんどない。調子がよければ、近所を散歩する。 ○サロンの存在を知らなかった。調子がいいときに覗いてみたい。
54	○海外区はとてもいい。静かだし、車もそんなに来ない。 ○近所の人とは、会えば挨拶する。 ○回覧板は回ってきている。 ○区の集まりに行ったことはない。 ○家でピアノを弾いている。目が悪くなり譜面は見られないが、覚えている曲を弾いている。 ○膝が悪くあまり出歩けない。買い物は子どもに車で連れて行ってもらっている。 ○困っていることはない。区に望むことは特にない。
55	○友人たちとカラオケに行ったりしている。 ○サロンには行ったことはない。足が悪くて行けない。
56	○海外区の高齢化が進んでいるので、不安感がある。 ○空き家も増えている。 ○隣組は約 20 軒ある。組長になったときは、今は車で会館まで広報紙などを取りに行けるが、車で行けなくなったら、重いので大変。いつまでできるのか不安。 ○近所はよく知っている人が多い。よそから来た人もいる。 ○近所でおしゃべりすることが多い。 ○近所のトラブルを刺激するとよくない。何かあったら困る。 ○今後、海外区に望むことは、活気ができるといい。若い人が来るといいが、来るのは「畑を作って暮らしたい」という定年後の人が多い。 ○サロンは知っているが、そういった活動はあまり好きではない。
57	○海外区にあまりいいところはない。困っていることもそんなにない。良くも悪くもないところだと思う。 ○近所付き合いはない。周りに誰もいない。 ○昔船乗りだったので、週に 3 回位は浜に行く。浜に行けば、同じ位の年代の男の人がいるので、よく海の話をする。 ○このままでいい。人や住宅も多くなさず静かがいい。 ○家の前の歩道は、雑草が飛び出しているが、散歩する人がよく通る。最近は暑いので日中は少ないが、それでも朝晩歩く人は多い。 ○サロンについて知らなかった。少し興味はある。
58	○海外区のいいところは、景色がいいところ。我が家のベランダでテレビ撮影をするくらい。近くに海の学校があり、学生がよく利用している。うるさく感じることもあるが、活気があっていいと思う。

	○昔は近所の人を集めて、みそや筑前煮などの料理を教えていた。最近は人がいないのでやっていない。 ○家族が三崎で配管の自営業をしている。「ホームページを見た」と、東京から仕事が入ることもある。 ○月1回三崎でやっている絵手紙や、週2回踊りを習いに行っている。 ○息子が、自宅のトイレや部屋の至る所に手すりをつけてくれた。足が悪く、杖をついて歩いていた時期もあったが、今は杖なしで歩くことができている。外出するときは、シルバーカーを利用している。息子たちや孫との関係がよく、安心して過ごしている。 ○買い物できる場所が遠いが、バス停は近い。京急バスのほかに、フジスーパーと京急ストアのバスを利用している。30分おきにバスが来るので助かっている。バスが通るまでは大変だったが、便利になった。 ○近所に別荘が多い。しかし、車で来るにも遠く、階段も多いので、徐々に別荘を利用しなくなる人が多い。別荘の方であっても、一部区費を徴収し、広報紙を渡すようにしている。回覧板を止めてしまわないように、代わりに回している。 ○別荘を利用している人の中には、様々な種類のゴミを混ぜて出す人もいる。そういったゴミは、いつまでもごみステーションにある。 ○今後の海外区に望むことは、あまりいい地域になってしまっても、人が増えすぎてしまい、環境保全のためにもよくないと思う。また、三崎の人はお人よしなので、心配に思うこともある。 ○組長になり、海外区会館まで歩いて広報紙を取りに行くが、会館が施錠されていて困ったことがある。
59	○ずっと住んでいるので、いいところも悪いところもわからない。 ○海外区のいいところは、近所がうるさくないところ。年代が異なるためか、近所付き合いは全くない。子どもが小さく、子ども会があったころは付き合いがあった。区の集まりや防災訓練に参加するのも、組長になっているときだけ。積極的には参加できていない。 ○困りごとは今のところ特にない。買い物に出るにも何をするにも車で移動している。京急バスの本数も少ないため、免許を返してから困ると思う。 ○海外区は、自分も含めて区について無関心な人が多いと思う。役員になったときだけ取り組む。海外区だけでなく、子どものPTA活動もそうだったと思う。



60	○海外区のいいところはない。 ○近所の人は、会えば話をする。 ○老人会に加入している。サロンには3回位行ったことがあるが、ここのところずっと行っていない。あまり楽しいと思わないし、自分で体を動かすからいい。暇があれば出歩いている。この間も、家から500m位のところまで散歩した。 ○毎日浜に行って、そこにいる人たちと楽しい話をしている。また、毎日船を出して網を仕掛けています。時季、場所によっては伊勢海老が獲れる。 ○困りごとはない。買い物にはバイクで行くが、そろそろ運転をやめようと思う。三浦市には免許返納の特典がないので残念。 ○今後の海外区に望むことは、この年になるとなかなかない。人口が減っているが、増えてもあまりいいことはない。悪い人が増えても仕方ない。
61	○皆いい人だが、ほぼ交流はない。新しく引越してきた人もいる地域。 ○三浦市は、台風などが来ても、大きな被害が出ることがない。 ○老人会には入っていない。あまり交流の場に参加したくない。 ○このあたりの地域は、どうしようもない。お金があれば引越したいと思う。 ○先月、家の電話に「おれだよ」と振り込め詐欺の電話があった。子どもたちからの電話は携帯電話に掛かってくることがほとんどなので、すぐに気が付いた。相手もすぐに電話を切った。 ○車やバイクの運転をやめた。買い物は京急ストアまで10分ほど歩いて行く。重いものを買うときはフジスーパーの無料送迎バスを利用している。 ○海外区にサロンがあることは知っているが、何となく人の集まる場所は好きではない。 ○老人福祉保健センターでおこなわれている、毎週金曜日の体操には参加している。また、友人のところに遊びに行くこともある。 ○昔はカラオケにも行っていた。
62	○海外区のいいところは、静かで、犯罪が少ないところ。 ○物価は高いけど、高齢者にとって住みやすいところだと思う。 ○自分で自分のことができていうちは、我が家に住み続けたい。 ○家の中の手すりは、自費で大工さんにつけてもらった。残念ながら、そのときは、介護保険制度やサービスについて知らなかった。その後、家族からそういった制度があることを教えてもらい、今は必要なサービスを利用することができている。 ○人とお話したい気持ちがある。今後の海外区に望むことは、人が集まってふれあえるような場所があるといい。一軒家に集まって、一緒に家事をしたり、材料費を出し合って料理を作ったりしたい。そういう場所があれば楽しいと思う。 ○海外区でサロンをやっていることは知らなかった。自分の用事と重なっているので行くことはできないが、都合がつけば行ってみたい。

63	○海外区は気候がいい。散歩するにはいい。大好き。住みやすい。 ○海外区は近所同士がまとまっている。コミュニケーションがよく取れている。 ○ゴミ出しのときに、井戸端会議になる。 ○近所でおしゃべりはよくしている。近所付き合いには今のところ困っていない。 ○区の集まりには参加していない。 ○車がないので、買い物は歩いて京急やクリエイト、フジスーパーまで行っている。 ○将来年をとってからどこまで自力で買い物に行けるか不安。生協の宅配を使うことはできると思うが、それだけで問題ないのだろうか。 ○外出はバス、電車、友人の車で出掛けている。 ○海外区にコミュニティセンターがない。できたらいいなと思っている。 ○海外会館がなくなったら困る。老朽化でいつまで使えるのか心配。 ○地域に溶け込む気持ちがまだないが、できたらいいなと思っている。 ○ごみステーションの掃除のために水を持ってくる高齢の方が大変そうだった。そのため、ごみステーションに掃除用の水としてペットボトルを置き、定期的に補充している。地域の人のために、気づいたことを、自分のできる範囲でやっていきたい。 ○きれい好きの人が多い。 ○下町の方が声を掛けてくれたので、サロンは知っている。
64	○年寄りばかりで若い人は出て行くので、人口が減っている。若い人が働くところがない。下の方は空き家も多い。 ○介護保険が高いし、三浦市は税金も高い。生活できない。 ○困りごとはない。自分には先がないし、どうでもいい。自分は家庭菜園でもして過ごしていく。 ○子どもが出て行って、二人暮らしの人が多い。 ○地域の集まりには行かない。 ○地域の防災訓練に参加したことがある。
65	○海外区のいいところは海。景色のいいところ。静かでいい。 ○潮風で外壁がしょっぱくなってしまふ。塩害がある。 ○近所とはあまり親しくはないが、トラブルもない。家と家の間が離れている。 ○海外会館には、組の集まりで行く。防災の集まりにも参加した。 ○困っていることはない。平凡に暮らしている。 ○ゴミの分別は厳しいが、皆注意してやっている。 ○三崎警察署のおまわりさんが回ってきてくれる。 ○サロンに参加したことはない。 ○防災訓練や草むしりのときには、地域住民が集まる。 ○家で娘と趣味のパズルをするのが好き。認知症予防にもなる。

	○友人と出掛けることもある。
66	○海外区は気候、天気がいい。 ○近所付き合いは挨拶程度。他に話すとすれば、組長や副組長になったときくらい。 ○サロンには、以前行ったことがある。用事があり行けないこともあるが、よそから来た者として、区のことにはお付き合いしないといけないと思っている。 ○買い物には自分で行っている。 ○何も困っていることはない。三崎という場所で幸せに暮らしている。 ○家族は時々顔を見せてくれる。自身も家族の家へ遊びに行く。 ○三崎に知り合いがいるので、日中はそこへ遊びに行き過ごすことが多い。 ○今後について。道路が狭いため、三崎も海外区も繁栄しないと思う。もちろん人口が増えるといいと思うが、せめてこのくらいの状態が続くといい。
67	○三浦は気候がいい。 ○一人でコツコツ年金暮らしをしている。 ○困っていることはない。寂しくない。欲がない。 ○足腰は大丈夫。歩けるので、病院は歩いて行く。下町まで歩いて行くと昔の仲間に会える。 ○買い物は市内に住む子どもが連れて行ってくれる。 ○海外区では、よそ者でも仲良く助け合って暮らしている。 ○海外区の漁師の仕事が盛んになって欲しい。今は収入が少なく、やっても隠居仕事のようなものだ。 ○サロンは知っている。自分のことを忘れられないように年に1～2回行くかどうかくらい。 ○年末にはお寺の集まりに行っている。
68	○海外区のいいところは、会ったときに挨拶ができること。近所付き合いがよい。 ○ゴミ捨てのときなどによくお話しをする。 ○困っていることは、人が減ってきていること。周りも高齢者が多い。今後が心配。 ○地震、津波の避難が心配。地区の奥にある坂道で上町へ避難するようになっている。手すりがついて登りやすくなったが、高齢者はそれでも大変。 ○地震、津波の際に、道ががけ崩れなどで通れなくなるのでは、と心配。その道も足場が悪く、高齢者は歩きにくそう。 ○小さい子どもをあまり見掛けない。遊べるような公園も近くにない。 ○一番の心配は高齢化が進んでいること。 ○地域住民との関わりはあまりない。区の集まりは日程が合わなかったりして参加していない。 ○昔は子ども会があり、つながりがあったが、子どもも自立し、今は子ども会もなくなってしまった。

	○近くの人達の顔は知っているが、上町はわからない。 ○若い人がいっぱい住めるまちになって欲しい。 ○うらりのマルシェはとてもよいと思う。 ○二町谷を上手く活用して欲しい。 ○近くにスーパーができて欲しい。今は車で買い物に行っている。
69	○海外区のいいところは、人情があるところ。会うと挨拶をしてくれる。 ○つながりが密。気軽に声を掛けてくれる。組長をしたときも長く住んでいる人が、フォローしてくれた。 ○海沿いの道を多くの高齢者がウォーキングしているが、歩道のどぶ板が崩れていて危険な場所が多い。歩道の補修を県や市に度々連絡しているが、なかなか直してくれない。 ○海岸沿いのスランプ構造は落石があり危険。 ○海岸沿いの道は排水管が少ないようで、雨が降ると大きな水たまりができ、なかなか水が引かない。 ○港の津波対策はあまり進んでいないようで不安がある。 ○市内のあちこちに、「海拔〇m」という看板をよく見掛けるが、海外区ではあまり見ない。避難経路の看板もない。必要なのではないかとと思っている。 ○安心、安全なまちになって欲しい。
70	○海外区は静かでいい。 ○年寄りが多い。 ○昔からの人が多く、なじみにくい。 ○区内での友人は少ない。 ○歩道に草が茂っていて、そのままになっている。観光客も多いので綺麗にした方がいい。 ○（歩道の整備を）市にお金がなくでできない分、地域でできたらいいが高齢者が多く、できる人がいない。 ○海外の交差点を老人会が草取りをしている。自分も吹き溜まっているときに掃除しに行ったりしている。 ○凸凹した歩道を歩いていて転んだお年寄りもいた。 ○老人福祉保健センターに今後行ってみたいと思っている。 ○海外会館で老人会がサロンをやっているのは知っている。出た方がいいと思っているが、なじめるか不安もあり、勇気がいるので、まだ参加していない。 ○活気のあるまちになって欲しいけど、高齢化が進んでいて難しいかな。 ○津波の避難のときは、屁っぴり坂から上がるように聞いている。
71	○近所に気を配ってくださる人がいる。 ○漁業が駄目になってしまい、空き家も多い。

	○若い人がいない。 ○一人で暮らしていくのは皆さん大変だと思う。
72	○近所付き合いが強い。 ○海外区のいいところ、悪いところはあまりよくわからない。 ○歩道の雑草が多く、ベビーカーや車いすは大変だと思う。 ○近くに遊具のある公園がない。 ○病児保育をしているところがない。
73	○ここは、便利な田舎だと思う。意外とバスの本数もあるし、買い物も便利。いなげや・フジスーパー・京急ストアと、スーパーマーケットもバラエティに富んでいる。 ○普段は車で買い物に出掛けるが、土日など渋滞しているときは、フジスーパーの無料送迎バスを利用する。 ○昔から近所の人と仲がいい。食べ物をもったりあげたりする。 ○サロンや市の元気アップ教室についてよく知らなかったが、おそらく親は尾上区のサロンに行っていると思う。
74	回答者 2 名 ○地域踏査をすることはいいことだ。「現状を見に来て欲しい」と思うけど、市長一人では回りきれないから、こうやって見に来てくれるのはいいこと。 ○娘が、近所の人ゴミ捨てを手伝ったり、空き地の草刈などをしている。自分や近所の友人で毎週カラオケに行くが、その送り迎えのために娘が車を出してくれる。 ○読書や書道などの趣味がある。友人や近所の人何かと顔を見に来てくれる。 ○近所は皆いい人で人情があり、仲がいい。ただ、亡くなった方も多く、隣組は9軒ほどになった。 ○バス停も近い。バスが通るだけいいと思う。 ○家の隣の道路が山林に面している。引越してきた頃は素晴らしい環境だと思った。うぐいすが鳴いて気持ちが慰められることもある。しかしながら、近頃は手入れされていないため、木の枝葉が電線に覆いかぶさっている。街灯の光が届きにくいと感じることもある。岩盤に生えている木が、風が吹いたときに倒れてくるのではないかと心配になる。日当たりも悪くなった。手入れして欲しいと思う。 ○海が近いため、津波が来たら怖い。一方で、富士山も見えるいい場所だと思う。 ○野良猫が多い。餌をやる人がいる。道沿いに尿やフンをするので、娘が片付けている。野良猫について市へ相談したことがあるが、対応できないとのことだった。自分の家にもネコ除けを置いているが、効果がない。 ○防空壕の跡があるが、ゴミが入っている。 ○海外区の元気アップ教室は、人数がいっぱいで参加することができないらしい。

75	○海外区のいいところは思いつかないが、普通の地域だと思う。近所とは、普段から声を掛け合っている。有事の際、隣近所に号令を掛けてくれる家がある。 ○困りごとはない。 ○海外区でサロンがおこなわれていることを知らなかった。 ○用事がない限り出掛けない。買い物には車を運転して行く。 ○今後の海外区は、何も変わらないと思う。
76	○80年ここに住んでいる。昔に比べると住みやすくなった。50年位前は、京急バスも通っていなかった。バスが通るまでは、どこに行くにも歩いて移動していた。 ○昔、バスが通る大通りは浜だった。関東大震災のときは、自宅の塀まで波が届いたと聞いている。関東大震災の後、波が引いて立派な浜ができた。男の子が集まって野球をするほどの広さがあった。「海外には子どもの遊び場があっていいね」と周りからいわれたほど。 ○今は住宅が建っているが、この辺りは沼地と田んぼが多い土地だった。尻っぶり坂の上も、ぬかるみみたいだった。終戦後に整地された。諸磯や東岡はほとんど畑だった。バス停が近い東岡から宅地になっていった。 ○自分が子どもの頃は、お風呂やかまどの火を点けるために、尾上区に木くずや松葉を拾いに行った。尾上区は山林だった。 ○10歳のときに戦争が終わった。防空壕を作り逃げ込む訓練をしたが、三崎には影響はなかった。東京や横浜、横須賀に行った帰りの飛行機の通り道だった。避難してきていた人たちが、「東京に帰ったら何も残ってなかった」と、三崎に戻ってきて物置のような小屋を建てて生活しているのを目にしたことはある。 ○老人会に入っている。月1回のサロンにも参加している。 ○膝が悪い。週1回ヘルパーに掃除に来てもらっている。 ○横須賀市で週1回リハビリを受けている。三浦市内にもリハビリの事業所ができたためか、以前より、同じ事業所に通う三浦市民が減った。 ○出掛けるためには坂を登らないといけなく、脚を鍛えるためにはいいと思う。 ○買い物には、京急ストアまで歩いて行く。たまに、京浜急行バスを利用するときもある。トイレトペーパーなど大きなものは、近隣市に住む子どもが買ってきてくれる。 ○最近体の動きも悪いので、いつ自分の体がどうなるか心配している。 ○時々「服や靴の回収をしているので、出して欲しい」と電話が掛かってくるが、怪しいので利用はしない。詐欺と思われる電話が一度だけあったが、たまたま家族が一緒にいたので事なきを得た。 ○今後の海外区に望むことは、これからも静かであって欲しい。変な人が入ってこないところだと思う。
77	○海外区のいいところは、静かで海が近いところ。暑すぎず、寒すぎないところ。

	○区の班分けがあり、順番で班長の役割が回ってくる。任期は1年。班の人数が少ないので、すぐに回ってくる。班長になったときは近所の人や他の班長と話す機会がある。 ○この辺りも住民が減り、空き家が増えてきて寂しい。 ○自分は今のところ問題なく暮らせているが、お年寄りが多く、若い人が少ないことが問題。どこも一緒だと思うが、区長のなり手がいない。そのため、何年も同じ人がやっていた時期もある。若い人がいないと、支え合いようがない。 ○揉めごとではなく、平凡な地域。海外区に長く住んでいるので、こういうものだと思っている。ただ、人は少なくなった。 ○サロンがあることは知っているが、仕事と重なっているため参加できない。仕事を辞めたら参加してみたい。
78	○海外区は、協力が無い。まとまって活動しているのは、二町谷のお宮の担当者と老人会くらい。二町谷のお宮は、海外区と白石区で祀っている。お宮の担当者と老人会両方の役割を担っている人もいる。 ○老人会加入者は40名位。そのうち10名ほどで浜の草取りをやっている。10日位前に海沿いの歩道の草取りをした。その向かい側は歩道に雑草がたくさん生えていて、車道に出ないと通行できない。市や区はどのように考えているのだろうか？ ○海外区には、催しが一切ない。仮に「旅行しよう」と提案しても、「足腰が痛い」といわれて実現できないだろう。 ○サロンにも市の元気アップ教室にも参加している。楽しいし、自分のためになると思っている。未病のイベントにも参加する予定。 ○日中は裁縫や家事、孫の世話などで、忙しく過ごしている。 ○今後の海外区に望むことは、催しが欲しい。
79	○海外区はいいところではない。 ○近所の人とは挨拶程度の仲。 ○買い物は、妻がスーパーマーケットへ歩いて行っている。 ○困っていることは特にない。 ○今後の海外区に望むことは特にない。
80	○海外区のいいところは、災害の大きな被害を受けにくいところ。堤防ができたことで波が立たなくなった。それまでは台風の度に船を高いところに上げていた。 ○朝御飯を食べた後は浜へ来て、「年寄りの子守り」をしている。今日は、頼まれていたベルトの穴の調整をしたので持ってきた。小屋でやっている作業を手伝うこともある。逆に魚をもらうこともある。 ○マグロの解体の仕事をしていた。今は自分の船で釣りをしている。6月位はカマス、ここ最近ではアオリイカを獲った。いい魚が獲れたときは、魚屋に卸している。

	○一人暮らしの人が多い地域。 ○男性と喋る機会が多い。 ○困っていることはない。 ○今ここ一帯にある船に乗っているのは年寄りばかり。若くて 50 代位。寂れるばかり。この港も、前は全て船が停まっていたが、今はスペースが空いている。船だけで食べていけるほどの収入は得られない。年金と、船で得られるお金を足しにして生きている人が多い。
81	○海外区のいいところは、海。 ○高齢者が多くなり、若い人は少ない。若い人は日中働きに出ているので、いざというときに寝たきりの人を運び出すことはできないと思う。 ○2 年位前まで「いざというときにそばにいて頼れるのは中学生だろう」との考えから、地元の中学生や希望者を対象に、救命の勉強会を実施していた。自分の子どもはその受講をきっかけに救命に興味を持ち、今はその分野について大学で勉強している。 ○以前区の役員をやっていたときに、区民に消火器を 1 本ずつ配ったことがあった。役員で横須賀市のホームセンターまで買い出しに行き、準備が大変だったが、いいことだったと思う。 ○古い家、空き家が多い。火事などのおそれがあるが、個人の所有物なので、対策のしようがない。
82	○徳島から移住してきた。マグロ船に乗っていた。 ○月に 1 回行くか行かないかという頻度ではあるが、船を持っているので、海へ遊びに行く。 ○老人会に興味はない。 ○買い物も特に問題ない。 ○右膝裏が痛い、今のところ介護保険は必要ない。
83	○60 年住んでいるが、この辺は随分と変わってしまった。 ○腰が悪いため、バスを利用して飯島医院に通っている。 ○困ったことはない。 ○老人会の活動は知っているが、加入していない。
84	○サロンに通っている。会館で体操をやってくれていることはありがたい。 ○困っていることはない。 ○一人で医者に行くことができる。 ○浜で皆と交流している。
85	○市外の人からは「海外」をよく「かいがい」と読まれる。 ○地域の活動には、防災訓練に参加したことがある。 ○他の区から引越してきたら、海外区には子ども会がなかったので、びっくりした。

	市の運動会に出るため、他の区の子ども会に加入していた。 ○空き家が多く、草がボーボー。歩道まで草で埋もれてしまっている。 ○ごみステーションが他の区の方がきれい。カラスよけのネットなどは市に相談したらいいのか？ ○海外区に若い人が増えて欲しい。防災訓練でも活気が出ると思う。災害時に高齢者をサポートして欲しい。 ○海外会館のサロンは、回覧板などで見て知っている。血圧も計ってくれるらしい。
86	○海外の港の先で、伊勢海老をとっている。以前より漁獲量が減っており、漁師だけではやっていけないと思う。
87	○三崎は、人がいい。小学校で「知らない人に声を掛けてはいけない」と指導する時期もあったが、最近はまた挨拶してくれる。 ○親同士の付き合いがないため、子ども同士が仲良くなならない。そもそも子ども自体が少ない。 ○諸磯区などの地区は、お祭りが盛り上がっている。地域が広いのか、若者も随分参加していたようだ。地域住民間のコミュニケーションの機会になっていると思う。 ○昔は、海外会館でバザーをやっていた。必要な経費を区費から支出し、近隣住民の有志でお汁粉を作って提供していた。また、以前は消火器が区民に配られた。区費を区民に還元する事業を実施して欲しい。 ○お神輿がなくてもいいから、お祭りをやって欲しい。一方で、お祭りが嫌で海外区に引越してきた人もいるので、良し悪しだ。 ○お神輿を担ぐためによその地域のお祭りに参加すると、参加費をとられる。 ○地域がまとまらないといけないと思う。なるべく挨拶するようにしている。 ○三崎俳句会と、三崎白秋会に参加している。 ○三崎俳句会は、南下浦市民センターやうらりの文化祭で展示をおこなう。また、三崎俳句会は三浦市文化連盟に所属している。また、朗読と音訳をおこなう「ひばりの会」で、古典について指導をしている。 ○三戸のオショロ流しや菊名のあめや踊りなど、三浦市内の行事に関心がある。あめや踊りは、菊名地区に住む長男しか踊ることができなかった。一度なくなってしまったが復活し、女性が踊っている。 ○外へ出て話をしないと、言葉が出てこなくなる。行ってはいないが、サロンは大切だと思う。 ○この辺りは、ごみステーションの管理を海外区と白石区共同でおこなっている。上手くいっていると思う。
88	○海外区のいいところは、空気がいいところ。また、海がそばにあるので、夏には泳ぎに行く。

	○仕事以外はあまり外出しない。 ○困っていることは、道が狭く坂が多いこと。お年寄りは辛いと思う。避難訓練も大変だったようだ。 ○今後の海外区に望むことは、もう少し若い人が住めるようにして欲しい。仕事がなく出て行ってしまう。 ○海の好きな人にとっては、釣りができていい環境なのにもったいないと思う。
89	○海外区のいいところは、静かなところ。 ○近所の人とは挨拶程度の仲。年寄りが多く、付き合いがあった人は亡くなっていた。 ○日中は仕事をしている。 ○生垣は自分で手入れしている。 ○困っていることは、潮風。見晴らしがいいところだが、洗濯物や布団が干せない。 ○若い人はどんどんいなくなっている。 ○今後の海外区に望むことは特にない。このままでいい。 ○散歩でその辺りに行くことがあるが、サロンをやっていることを知らなかった。
90	回答者 2 名 ○ずっと住んでいる。海外区のいいところは、不便ではないところ。海も見える。 ○困っていることは、子どもの遊び場がないこと。市営プールがないため、子どもを馬堀海岸やハイランドまで車で連れて行っている。海は近いが、遊泳禁止のところが多い。 ○子どもは、学校で遊んでいる。毎週木曜には保護者によるスポーツの会があり、参加している。 ○夏のラジオ体操を復活させて欲しい。子ども会があった30年位前に、加藤商店の前あたりでやっていた。 ○近場で子どもが遊べるイベントをたくさんやって欲しい。城ヶ島の駅伝大会に、子どもたちは喜んで出ている。海に親しむイベントや、スポーツ、高齢者とふれあうなどのイベントはどうか。定期的にふれあうことができれば、敬う気持ちが生まれるのではないかな。 ○海外区はお年寄りが多く、あまり子どもの声がしない。 ○今後の海外区に望むことは、海がきれいになって欲しい。 ○観光が充実して欲しい。2階建てバスにも期待している。三崎口駅のバス停に、「三崎まぐろ駅」と書いてあった。 ○本当は電車が通って欲しい。 ○海外区の皆でバーベキューをしたい。最初から集まる訳はないと思うが、3、4年も続けたら集まるかもしれない。 ○サロンについては、友人が行っている。自分は仕事があるので行けない。

91	○海外区は仲がいい。嫁に来て 50 年。人に恵まれている。 ○顔が見えない、電気が点かないということがあれば、心配して声を掛けてくれる。 ○庭木なども近所の友人の旦那さんが快く切ってくれたりする。 ○自分でなく、子がゴミ捨てに行ったときなどは、近所の人が「お母さんはどうかしたのか」と、子に声を掛けてくれる。 ○困っていることはそんなにない。 ○以前は、路線バスが 30 分毎にあったが、今は 1 時間毎。さらに午後 3 時から 5 時の間は、1 時間に 1 本もないときがあり、郵便局に行くときなどに不便。 ○買い物は市内に住む子どもが車で来て連れて行ってくれる。 ○フジスーパーのバスなども使える。 ○サロンに誘ってもらっているが、持病もあり、行っていない。 ○今後望むことは、友人も大勢いて、交流もあるので、今のままで十分だと感じている。 ○敷地内の井戸は防災指定井戸である（市が災害時に生活水として使用できる井戸として指定している）。
92	○海外区は仲がいい。 ○近所に変な人はいないので助かっている。揉め事もない。 ○他の地域より、人が静か。 ○海外区は祭りがないので、煩わしさが無い。 ○猫好きな人も多い。自費で野良猫の避妊手術をしている人もいる。 ○老人会に入っていないので、サロンには参加していない。 ○空き家が多い。近くにも空き家や、空いた土地がある。 ○困っていることはない。 ○今後望むことも特にない。 ○この辺の地域は水が湧いている。井戸も多い。 ○若い母親同士、情報交換をしているようだ。
93	○海外区にいいところは特にない。 ○地域の支え合いも特にない。必要性は今のところ感じない。 ○困っていることも特にない。
94	○海外区は景色がいい。 ○暮らしやすい。 ○住民同士の助け合いはあまりない。 ○自分自身があまり近所に出ない。近所での集まる場所もない。 ○交通が不便で困る。今は車があるからいいが、車が使えなくなったら大変。 ○京急バスの市立病院行きが朝の 1～2 本になってしまい不便。三崎東岡行きや三崎口駅行きのバスだと栄町で下車してから病院まで歩かなくてはならないので大

	変。反面、三崎口駅行きのバスは増えた。 ○海外区は年寄りが多く、子どもはあまり見掛けない。上町や尾上区にはいるのかな。 ○海外会館には組長会議でしか行かない。 ○防災訓練は参加した。
95	○海外区のいいところは、空気がいいところ。 ○住んでいる人が皆親切。今も、すぐ近所でご飯をごちそうになってきた帰り。支え合いのあるところだと思う。引越してきたが、周りが迎え入れてくれた。 ○私自身も、近くのゴミを拾ったり、猫のフンを片付けている。 ○地域の支え合い活動に興味がある。 ○近所の人に挨拶をすると、会釈でなくきちんと挨拶を返してくれる。 ○困っていることは、子どもの帰り道が怖いこと。三崎口駅～浜諸磯行きのバスの最終便の時間が早いため、三崎東岡から歩いて帰ってくる。距離はそれほどでもないが、街灯が少ない。 ○子どもの数が少ない。 ○今後の海外区は、活気ある地域になって欲しい。 ○皆で集まれる行事があるといい。こじんまりとした地域の中でコミュニケーションをとりたい。 ○海外会館でサロンがおこなわれていることを知らなかった。近所に老人福祉保健センターを利用している人ならいる。
96	○海外区のいいところは気候のよさ。 ○災害も少ない。 ○人も優しくて住みやすい。支え合いがあると感じている。 ○急なお客さんのときに、食材が足りなかったら、近所に借りに行ったりする。 ○困っていることは、あんまりない。なんの不自由もない。 ○なにかあればすぐ子どもたちも来てくれる。 ○友達同士のお付き合いも多く、家を行き来したり、食事会に行ったりしている。
97	○海外区（三浦市全体として）のいいところは、河川がないので水害などの災害が少ないところ。 ○近所付き合いがいい。 ○セキュリティにも気を遣っていない。 ○区で助け合いはある。ゴミ当番やお寺の集金など。歳末募金などの集金は係が二人一組で回っている。 ○困っていることは、ぱっと思いつくようなことはない。 ○海外区の将来はどんどん廃れていってしまう。 ○京急バスが少なくなって不便。今は車があるが、祖父はスーパーのバスで外出し

	ている。 ○白石区や海外区は漁業が衰退している。港に堤防が作られたせいか、海の生態系が変わり、以前はとれていたサザエなども今はとれない。漁業でも魚がとれなくなっている。 ○地域で集まる場には参加してない。 ○海外会館のサロンは知っている。
98	○近くの港にスピーカーがあるが、防災無線がよく聞こえない。なんとかならないのか。スピーカー以外で連絡を取る方法はないのか。（市の「防災情報 メールサービス」を伝えたところ）高齢者でもできる方法が欲しい。 ○特に困っていることはない。 ○サロンがあるのは知っているが、まだ仕事をしているので行っていない。 ○地域の集まりも、仕事の都合で参加できていない。
99	○海外区に引越してきた。 ○海外区は静かでいいところ。人がいい。 ○年寄りが多い。連れ合いを亡くし、一人暮らしの人も増えている。 ○年寄りが多いのは、長生きしやすい環境である、ということ。 ○健康維持のため、引きこもらず、散歩や釣りなど積極的に外に出ている。 ○人付き合いをすることはとても大切。 ○老人会に入会し、サロンにもたまに参加している。 ○サロンで、人と交流することが大事。 ○これからは、子どもに頼らず、地域で助け合っていく時代。 ○楽しみはお金を掛けず、地域の人たちの趣味のノウハウなどを活かしてつくっていけるといい。
100	○海外区に住んでいて、いいところも困っているところもない。 ○移動は自家用車ですることが多い。 ○自分の小さい頃は、浜には道路がなく、行き止まりだった。車が通れるようになるとは思わなかった。 ○日中は自営業の電話番をしているが、それ以外には特に何もしていない。散歩したいと思うが、歩くと夢中になってしまうおそれがあり、血圧が心配。
101	○海外区は、静かでいいところ。天気の良い日は浜辺から富士山が見える。 ○70 歳以上の人が増えているので、近い将来老老介護の問題が起きると思う。 ○三方が海に囲まれているので、どこに行くにも必ず坂道になっている。高齢になると、買い物も大変。 ○自分は、みうら観光ボランティアガイド協会に所属し、月に 1～2 回うらりのインフォメーションセンターで案内をしている。活動に参加していると、三浦市に長く住んでいても知らない、新たな発見がある。社会が広がる。

	○若い人が減り、空き家が増えている。本当は、若い人が住んでいると安心する。 ○昔は子どもの声が年中聞こえていた。子どもの声が聞こえるまちになって欲しい。
102	○海外区のいいところは、無害なところ。 ○昔は、年寄りや家は家の外に出ていた。至るところで井戸端会議が開かれていた。道を通ると「どこ行くの？」と気さくに声を掛けてくれた。 ○最近では、地域住民間の普段の交流はない。隣近所とは挨拶程度の仲。 ○自分は、毎日自家用車で市内の温水プールに通っている。そこの人達とおしゃべりしている。 ○最近、友人間でネイリストを招いて、ネイルアートをした。なかなかできない体験でよかった。 ○困っていることは今のところないが、買い物が不便になると思う。近くには京急ストアしかない。フジスーパーや京急ストアの無料送迎バスの駐車場までは少し距離がある。 ○昔、サプリメントを送りつけられる詐欺に遭ったことがある。また、「靴や洋服を回収する」という営業の電話がかかってくる。 ○海外区でサロンがおこなわれていると聞いたことはあるが、今はプールに通っているから、行こうとは思わない。 ○住民は、区について無関心だと思う。自分も、順番で役割が回ってくるときしか地域住民と顔を合わせない。何か参加しなきゃいけないと思う。 ○救急法の講義や避難訓練があると参加する。 ○若い人がいないため、区長や役員のなり手がなくて大変だと思う。
103	○海外区は、住めば、静かでいいところ。 ○周りはお年寄りが多く、あまり話はしない。別の地区に住む友達と遊ぶ。 ○困っていることは、家の前の道幅が狭いため、車が入らないこと。自家用車は、近くに駐車場を借りて停めている。 ○サロンがおこなわれていることは知っている。参加やお手伝いをすることに興味はない。 ○今後の海外区に望むことについては、考えたこともなかった。
104	○海外区のいいところは、空気がきれいで、自然がいいところ。いろんな生き物がいるので保って欲しい。 ○困っていることは、駅から遠く不便なところ。 ○お年寄りが多く、子どもの少ない地域。 ○台風の後、ゴミや枝葉がたくさん道路に散らかっている。近隣の空き家から出るものも多いので、持ち主は家を綺麗に掃除して欲しい。
105	○海外区のいいところは、人が皆いいところ。助け合い、協力する心がある。人のことをほっておけない気質。

	○海と山があり、魚にも野菜にも恵まれている。空気もよく、富士山も見える。 ○かつて海で仕事をしていた人達の中に、助け合いの関係がある。 ○困っていることは、どこに行くにも坂があること。でも、京急バスやフジスーパーの無料送迎バスなどがあり、よく利用されているようだ。 ○市内循環バスがあるといい。市立病院行きのバスは午前中の2本のみ。病院に行きたい人は困っている。 ○歩けない人や、足腰が悪く通院している人が多い。戦時中に引越してきて、よく働いた人が多い。長生きだが、足腰にきているのではないかな。 ○海外区は、今のところどうにもならないと思う。世代が変われば変わっていくと思う。今は「何かしよう」と持ち掛けても、人が出て来なくて何もできない。上町の人も、下町に下りてくるのは億劫だと思う。
106	○海外区のいいところは、気候が穏やかで、空気がよく、富士山が見えるところ。 ○昔から住んでいる人は支え合っている。自分も、近所の人を自家用車で病院や三浦市社協末病センターに連れて行ったり、友人と一緒に近所のお宅の片付けを手伝ったり、空き地の草を刈ったりしている。地域で気付いたことはやるようにしている。 ○昔は釣り船を経営し、今も船は持っていることから、年1~2回ある漁師仲間による浜の掃除には参加している。 ○区内外のご近所さんが、入れ替わり立ち替わり自宅にやって来て、お話ししてお茶を飲んでいく。 ○老人会の役員を務めている。老人会内の高齢化が進み、足腰が弱っている人が増えている。また、車を出せる人が少ないため、機動力がない。上町から老人会に参加してくれる人がいるので、帰り道は車で送るようにしている。家族から「人を乗せるのは危ない」といわれているが、目の前にいるとどうしようもない。 ○区の広報紙に、老人会会員募集の記事を掲載している。 ○老人会では、2ヶ月に1回神社掃除をおこなっている。以前は白石町と合同でやっていた。 ○今後も老人会で様々な活動をしていきたいが、介入を嫌がる人もいる。 ○老人会の活動について「次は〇日だよ」と連絡しても、忘れられてしまうことがある。前日に電話連絡を入れ、近くに住む人は活動が始まる前に直接呼びに行くようにしている。 ○同じ区に住む友人2人が、老人福祉保健センターにパソコンを習いに行っている。 ○老人福祉保健センターのストレッチ体操に毎週通っている。 ○昔は子ども会があり、ソフトボールや野球をしていた。母親クラブもあり、学校の運動会のためにムカデ競争の練習をしていた。 ○子ども会と区役員で夜回りをしていた。また、登下校の見守りを区の役員と有志

	でおこなっていた。各所の曲がり角に2人ずつ立っていた。 ○将来的に、車の運転ができなくなると困ると思う。そばにバス停はあるが、運行本数が減っている。 ○詐欺と思われる電話がかかってきたことが2回ある。相手は子どもの名前を名乗ってくる。1回目は明らかに子どもの声でなかったのですぐにわかった。しかし2回目は声が似ていて話を聞いてしまった。「お墓を買いたいから、お金が必要」という話だが、すでにお墓は所有していたため、話が妙だと気付くことができた。また、普通であれば電話でお金の話はしない関係性なのに、1人だと変に思っても確認できないことがわかった。子どもとも連絡手段について再確認した。警察からは、「詐欺の電話は相手に引き込まれてしまうので、長く話さずすぐに切ってください。」といわれた。 ○海外区内外の友人にも、詐欺被害に遭った人がいる。騙そうとする人は上手くやるため、しっかりしている人が引っ掛かっている。我が子に何かあったときに、自分で何とかしようとするからだと思う。しかし、我が子のことになると頭が真っ白になってしまう。 ○詐欺未遂や被害の話は、老人会の際など皆で話し合い、情報を共有するようにしている。そういった集まりに出てくる人には一応話が伝わるが、家にずっといる人には情報が伝わりづらいと思う。 ○子どもの学生時代の名簿が出回っているらしく、先に詐欺の電話がかかってきた友人が「こんな電話に気を付けて」と注意喚起してくれる。 ○今後の海外区は高齢者ばかりになるので、老人会が大事になると思う。今は月に1回サロンを実施しているが、もう1回サロンのようにお茶を飲める集まりをやりたいと考え、今役員間で話し合っているところ。老人会に加入していなくても気軽に来ることのできる場をつくれたらいいと思う。 ○自宅を開放したサロン活動もいいとは思いますが、参加者に気を遣われるのではないかな。
107	○自分の周りでは、助け合いはない。 ○地域との交流はない。 ○困っていることはない。 ○将来も制度（介護保険）を使ったりしてできるだけここで暮らしたいが、難しければ施設に入るしかないだろう。 ○周りには年寄りが多い。 ○サロンは知っているが参加していない。
108	○海外区のいいところは、景色。富士山が見える。 ○冬も温暖、夏も過ごしやすい。暮らすにはいいところ。 ○地域の人も穏やかで、のんびりしていてよい。

	○近所で、困ったときの助け合いがある。毎日声を掛け合ったりしている。 ○仲間意識が強い反面、引越して長く住んでいても「よそ者」という雰囲気はある。 ○高齢者が多い。 ○一人暮らしの高齢者も増えている。何かあったときに心配。 ○年寄りが亡くなっても、新しい人が増えない。 ○海外区に活発さが無い。 ○空き家が多くなっている。何か利用できたらいいと思うが・・・。 ○老老介護も多く、大変。介護が必要になりホームに入る人も多い。 ○以前より、漁師が減った。船を持っていたとしても生業としては成り立たず、漁は片手間にしかできない。 ○港に堤防ができた影響で魚や海藻、磯ものもとれなくなっている。昔はウニもたくさんいたのに。 ○買い物について。海外区に豆腐屋さんの移動販売が来ている。スーパーより割高になるが皆買っている。また、野菜などの移動販売車が海外区に来るという話もある。 ○海外区で認知症講座をおこなったが、予定が合わないのか、参加者は少なかった。 ○防災について。津波避難時に高台へ行けない人も多い。 ○風水害と津波で避難場所が異なることを知らない人が多い。回覧板などでたびたび回していてもじっくり見てない人が多く、周知が難しい。 ○老人会も高齢化し、旅行に参加できない人が多くなっている。 ○海外区で今後も皆で仲良く暮らしていけることを望んでいる。
109	○海外区は近所が仲良し。 ○声掛けがある。数日見掛けないと、近所で声を掛け合っている。 ○道路でおしゃべりしていることも多い。 ○70歳以上の高齢者が多い。 ○区で防災の集まりもしてくれているので、防災のことは浸透している。 ○自分は日中仕事しているので地域のことになかなか関われない。 ○気になることは、隣組に入っていない人のゴミ出しのマナーのこと。 ○若い人が引越してきてくれたら、地域が活性化するのに、と思う。
110	○一人暮らし。周りにも一人暮らしの人が多し。 ○子どもは就職のために遠くへ出てしまう。 ○何かあったら連絡してもらえよう、近所の人に子どもの連絡先を伝えてある。 ○地域の交流として、隣組の役員で年に1回集まりに参加している。 ○家にいることが多いが、友人が家に来てくれることもある。 ○老人会には入っていない。 ○サロンは知っているが、身体が悪いので行けない。

	○区の防災の集まりに参加している。 ○以前は海岸清掃にも参加していた。最近はやっていないのかな。 ○全体的に、思うようにいかないことも多い。
111	○近所は仲がいい。 ○一人暮らしが多い。 ○近所で個々に助け合いがある。困っていれば声を掛けたり、ゴミ出しを手伝ったりしている。 ○老人会には入っていない。 ○海外区はまとまっていると思う。問題はない。 ○もっと区の催し物があるとよい。老人会くらいしかない。
112	○海外区は、空気がよく静かである。 ○以前自治会の役員だったとき、避難経路や誘導方法・援護者リスト確認をして体制を整える準備をしたことがある。 ○海外会館において、救命講座や災害についての講義を受講した。 ○困っていることとしては、地震・津波・火事・土砂災害等の災害時に自分は逃げられないと思うこと。 ○大雨で側溝が破損したため、修理依頼を市に申し出たが直してくれない。 ○サロンについて。海外会館にて何かしていることは承知しているが、希望する講座ではない。 ○今後の三浦市に望むことは、若い人が住める環境作り。例えば働く場の確保、空き家を減らすなど。また、街灯や交通機関の整備など、インフラ整備の充実。
113	○海外区のいいところは、静かなところ。近所の人と昼を食べたり、食べ物を交換するなどして、頻繁に交流している。 ○困っていることは、三崎東岡のバス停まで歩くときに街灯がなくて真っ暗で怖いこと。近くのバス停は、本数が少なすぎて不便である。 ○サロンについて、近所の人から聞いたことがあるが、行っていない。参加を検討したい。 ○今後の三浦市に望むことは、子どもから高齢者まで安心できるよう、病院や公共施設の充実と、空き家がなくなるようにして欲しい。
114	○昔は海外会館まで行っていたが自宅前が坂道で自宅から出られない。 ○何もできない状態になったら、家族と相談し介護保険を利用したい。デイサービス等の利用はまだしたくない。自宅でできることをしていきたい。
115	○海外区のいいところは、空気がきれいなところ。 ○近隣で支え合いながら声を掛け合って過ごしている。 ○災害時は、隣近所の人で商店に集合し、その後避難所まで避難すると決めている。 ○組長・役員だったときに、海外会館で防災の話を聞いた。

	○困っていることは、病院がないこと。市内の病院に行っても「ここでは対処できない」からと、すぐに市外の病院に行くことになる。市外までタクシーで移動するため、本人や介護者にとっては、金銭や時間の負担が大きい。 ○昔は活気があり、子どももいた。残念に思う。 ○サロンについては、「サロン」という名称は知らなかったが、海外会館で開催されていることは知っている。 ○今後の海外区に望むことは、にぎやかになって欲しい。港町としての活気を戻したい。
116	○海外区は、海が見える、静かなところ。不便な場所だが、フジスーパーや京急ストアの無料送迎バスに乗り、買い物へ行っている。 ○サロンについて、海外会館で集まっていることは知っているが、参加については検討中。
117	○ずっと海外区で暮らしている。海外区は、平々凡々とした地域。 ○老人会に参加している。海外会館や老人福祉保健センターなどで皆とおしゃべりして過ごす。 ○それ以外に地域で集まるのは、組長になった際に組長会議に出席するときくらい。以前は婦人部があり、参加していた。 ○この辺りは代々住み続けている人が多く、仲がいい。何かあれば話し合って解決できる。 ○主人が、家の上がりがまちの段差を解消するためにステップを作り、手すりをつけてくれた。また、福祉関係の仕事をしている家族がいるため、困ると相談している。 ○困っていることは特にない。
118	○海外区にいいところはない。 ○20年前に引越してきたが、付き合いにくい。 ○三浦市は漁業、農業と観光が三位一体になっていない。漁業でもマグロ関係と沿岸漁業関係で折り合いが悪い。 ○助け合いはない。 ○空き家活用などは7~80代の人がいなくなる限り、できない。 ○老人会には誘われていない。 ○最後の職を辞めてから10年位経つが、高齢だと働くところもなく、日中は家にいることが多い。TVを見たりしている。 ○健康のために自転車で買い物などに出掛けている。 ○困っていることはないが、突発的に自分が死んだら迷惑を掛けると思う。 ○役員のなり手がなく、区がなくなってしまうらと思うと、心配。
119	○海外区は仲がいい。

	○近所に空き家や一人暮らしが増え、人が少なく、寂しい。怖い。 ○元気アップ教室に通っている。登録者 23 人。よく来る人は 13 人位。もっと皆に来て欲しい。 ○近所に一人暮らしの人がいて心配している。 ○以前はもっと近所で声の掛け合いや助け合いがあったが、ここ 10 年位減ってしまった。今は近所でも、その人のご家族がどう思うか気になり、声を掛けにくい。見に行くのも難しい。 ○相手からいってこないと困りごとは聞きづらい。 ○もっとたくさんの人に海外区に住んで欲しい。 ○埋め立ての影響か、海の土が変わってしまい、わかめなどがとれなくなっている。以前は海で泳いでいたが、今は孫が遊びに来たときは横須賀市のプールに連れて行く。 ○白石にあるプールを夏休みだけでもやって欲しい。
120	○海外区にいいところはない。 ○三浦市は市民税が高い。三崎自体に活気がない。 ○店が少ない。歩いて行ける距離に、買い物ができるところがない。コンビニが潰れてしまったりしているが、人が少ないので仕方がない。 ○車がないお年寄りは大変そう。 ○ネットスーパーでの配達も三崎まで配達をしてくれるところはあまりない。 ○買い物などのネット活用（タブレット）を、地域の会館などで高齢者に教えたりしてはどうか。 ○時間のゆとりがなく、地域の活動には参加できていない。
121	○海外区のいいところは静かなところ。 ○隣近所は親切で、お互い声を掛け合っている。 ○一人暮らしの高齢者を見掛けると話し掛けるようにしている。30 分位話し相手になっていることもある。 ○地域に住んでいるのは老人ばかり。女性が多い。 ○空き家が増えている。 ○火事対策のためにも空き家を壊すことを考えないといけない。市や区、企業でお金を出し合ったり、県の補助などを受けて、なんとかならないのか。猫やトカゲのすみかになってしまっている。 ○漁業は海が変わり、駄目になってしまった。農業は嫁がいらない。市はいつまで保つのか心配。 ○買い物には自転車を出掛けている。 ○老人会には入っていない。自分のことでいっぱい。
122	○このあたりの地区は連携がとれている。

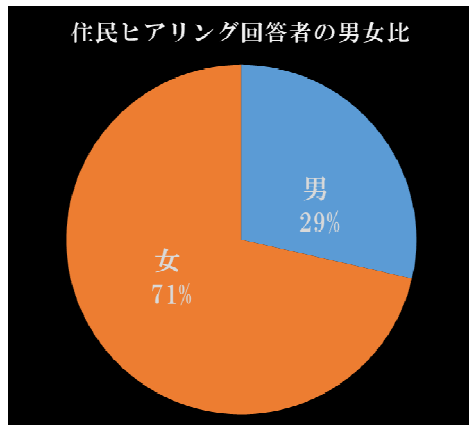
	○高齢者が多い。60代は若いほう。 ○何かあれば助け合っている。車いすの貸し借りをしたり、雨戸が閉まっていると心配して声を掛けてくれたり、救急車が来たときに道案内をするなど。 ○道を挟んですぐ別の区だが、区が違って助け合っている。 ○地域で火事が多く、住民も敏感になっている。 ○近くの道が陥没していて、雨の後は水がたまる。水がなかなか引かないため、バイクや自転車的人是は大変そう。市の管轄ではないのか、ずっと舗装されていない。 ○地域の集まりには、防災訓練など何かあれば出ている。 ○海外区の役員さんは苦勞されている。区の集まりにはなるべく出るようにしている。
123	回答者 2 名 ○海外区のいいところは、景色。富士山がきれい。港の景色がとても好き。ぼうびき（白石区との境にある浜）は昔きれいだった。 ○海外区では、誰でも声を掛け合い、親しみがある。 ○他の地区の人に「海外区は近所の人との挨拶が多い」といわれたことがある。 ○ここは高台なので水害は安心だが、火事が心配。 ○年寄りが多い。高齢者の一人暮らしが増えている。 ○地域で助け合っていないといけない。具体的な支援も考えていく必要がある。 ○大変だと思うけど、買い物に行くこともリハビリでもある。 ○近所では生協（個別配送）をとっている人が多い。生協は配達してくれるので助かっている。 ○道路が細くて、さらに道に電信柱がはみ出しているので、歩いていると車が来たときに怖い。車のすれ違いも大変。 ○道路が細いので、消防車が入ってこられないのではないかと不安。 ○道路が斜めになっていて、バリアフリーではない。 ○防災倉庫の脇に昔は消防団があったが、今はない。
124	○海外区は景色がいい。 ○人のつながりがある。人情がよい。近所もいい人ばかり。 ○身体の悪い自分が歩いていると、近所の人から心配をして声を掛けてくれる。 ○近所の人と道路でよく立ち話をする。 ○地区には子どもがほとんどいない。 ○区の講座で海外会館に行く。区で年2、3回避難訓練や救命講習などがあり、チャンスがあれば出ている。 ○老人会に誘われているが、身体が悪いので入っていない。 ○区の中に釣り仲間がいる。男性の集まりで、忘年会をやったり、仲間の葬式の手伝いに行ったりする。

125	○海外区にはいいなと思うところがない。 ○不便なところは、お店がないこと。加藤商店はお酒の他にお菓子やハガキ、切手もあり、助かっていたが、2、3年前に閉まってしまった。コンビニも近くにないので、ちょっとしたものも購入できない。買い物は市内のスーパーまで車で行っている。近くにコンビニができて欲しい。 ○交通の便が悪い。バス停は近くにあるが本数が少ないので、三崎東岡まで歩く人が多いが、坂道で大変。 ○鉄道は油壺まで伸びる計画があったが、現在は中断している。道路は渋滞が多い。西海岸線道路（三浦市の南北をつなぐ道路の整備）の計画があったが、中断しているため、鉄道も道路も計画を再開して欲しい。 ○空き家が多く、火災が心配。 ○空き地も多く、大きい道路のそばでもいつまでも売れない。寂しいし、困る。 ○海外区の中で、新しく来た人は合理的な考え方を持っており、古くからの人とうまくやっていくことがなかなか難しい。 ○組織だった助け合いはないが、隣組の助け合いは自然にある。 ○年寄りが多いので、若い人に活性化して欲しいが、海外区は不便なので若い人は出て行ってしまう。
126	○海外区のいいところは景色。 ○隣組の仲がいい。回覧板を回しに行って、立ち話をしたりする。 ○隣組は40年前には10軒以上あったが、今は半分以下に減っている。 ○まだ困っていることはないので助けを借りる必要はない。 ○主人が近所のペンキ塗りを手伝ったりしている。 ○買い物の便が悪い。買い物には自転車で行っている。 ○市外に出掛けた帰りは天神町のバス停からタクシーを利用する。 ○海外区はコンビニもなく不便で、住むところじゃない。バスも少ない。 ○若い人は働くところがなく、子どもも成長したら独立して市外へ行ってしまう。 ○地域の活動は苦手。老人会には誘われている。 ○海外区はこれからもこのままでいい。仕方がない。
127	○海外区のいいところは、近所が団結していること。 ○挨拶、声の掛け合いができています。 ○困っているところはない。 ○年寄りが多く、若い人が少ない。 ○高齢なので地域の活動には参加していない。 ○会館のサロンは知っているが参加していない。
128	○近所で声を掛け合ったりしている。 ○市立病院行きの京急バスが少なく不便。朝は7・8時台しかないし、帰りのバ

	スはないので、体調が悪いときはタクシーを利用し、それ以外はスーパーで買い物して無料送迎バスを利用して帰って来る。市立病院からの帰りのバスを作って欲しい。三崎口駅行きや三崎東岡行きの京急バスだと栄町のバス停から病院まで遠いので歩くのが大変。市立病院の送迎バスを海外区まで来るようにして欲しい。 ○買い物にもスーパーの無料送迎バスを利用している。送迎バスの発着所が家から近いので助かっている。 ○地域の集まりには参加していない。 ○老人会に誘われているが、人が多いところは苦手なので参加していない。
129	○近所に助け合いの活動はまだない。挨拶ぐらいはする。 ○近所に家も少なく、高齢者ばかりで、自分も含めあまり外に出ないので、近所の人に会うことも少ない。 ○海外区は不便。どこへ行くにも上り坂。 ○買い物は、今はバイクに乗って出掛けているからいいが、年を取ってバイクに乗れなくなったら困る。 ○外に出るのがとても億劫になった。趣味の活動に出掛けるときも、家族の後押しがあってようやく出掛ける。 ○地域での活動には参加していない。外に出たくない。 ○年寄りばかりで、子どもは全然見掛けない。 ○今は困っていることはないが、バイクに乗れなくなったときなど、先が不安。
130	○海外区は川や山がないので、風水害はないから安心。 ○近所づきあいがいい。 ○地域に子どもがいらないから寂しい。 ○一人暮らしの人が多く、声を掛け合ったり、世間話をしたりしている。 ○空き家も増えている。 ○防災無線が聞こえにくい。 ○買い物は坂を登って歩いて行っている。 ○老人会は知っているが、サロンは知らなかった。今のところ参加するつもりはない。 ○以前は保健所の検診が海外会館まで来ていたが、今は来ていないと思う。 ○特に困っていることはない。
131	○近所には昔からの知り合いが多く、よく知っている。近所付き合いがいい。 ○しょっちゅう声を掛け合っている。ごみステーションでもおしゃべりをしている。 ○近所に一人暮らしの人が多く、一人でも頑張っている様子。 ○以前は組ごとに消防訓練があり、よく参加していたが、今は区全体の行事になり、なかなか出られない。 ○市内循環バスがなくなり不便。皆病院に行くのに困っている。

	○選挙のときに白石区まで行かないといけないので、歩いて行くのが大変。 ○海外会館の立ち退き問題も心配。 ○12月の酉の市で海南神社に行ったら、閑散としていた。地域の行事が衰退していくのかなと思うと寂しい。
--	---

※住民ヒアリングの回答中の文言について。「フジスーパー」は「スーパーマーケットフジ三崎店」、「京急バス」は「京浜急行バス」、「バイク」は「原動機付自転車を含むバイク」のことである。



海外区における地域踏査の概要

ソフト面（人々の暮らし、助け合いの仕組みなど） 店舗・会社など

1	くるみ美容室 営業：日・月・木の9～17時 ○完全予約制。 ○利用者のほとんどは近所だが、横浜から車で来てくれる人もいる。	 
2	石黒造船株式会社 営業：月～土の8～17時（第2・4土曜日は休み） ○主にFRP（繊維強化プラスチック）の船を造っている。 ○役職員を含め、従業員は16名。従業員のほとんどは三浦市民。 ○開業して70年位。 ○釣り船、観光船、官庁船などの修繕や、新しい船の製造をおこなっている。 ○修繕の需要は、途切れたことがない。地域の皆さんのおかげ。これからも一緒にやっていきたい。 ○海外区について。昔より民家が増えた。地域の釣り船は、経営者が高齢化し、廃業される方が増えている。漁船も減っている。昔はマグロ船などでとても栄えていた。	 

3	神奈川県漁連三崎支所 営業：平日・9～17時 ○県漁連から5名が勤務に 来ている。 ○昭和47年10月に開所。 地域の漁業関係者に向け て、漁具や船具の販売と 市民や観光客へ向けて海 苔などの加工製品の販売 をしている。 ○漁具でよく売れるもの は、アンカやロープ、秤な ど。 ○地域の漁業関係者とコミ ュニケーションがよくと れている。 ○地域における活動とし て、漁業組合や老人会の 浜掃除のときに一緒に支 所の前の草取りや掃除を おこなっている。	  
4	株式会社羽床総本店 営業：年中無休・8～18時 30分 ○漬け魚の製造・梱包・販 売・発送をおこなってい る。工場も含め、従業員は 約30名。工場と梱包の職 員は、ほぼ三浦市民。 ○創業は大正12年。ルー ツである香川県の地名か ら「羽床」という店名にな った。一度横浜でお米な どのお店を開いたが、関 東大震災の被害を受け て、拠点を三崎に移した。 海外区に店を構えたのは 昭和24年。漬け魚の取り 扱いを始めたのは昭和 25年頃。現在は4代目 が切り盛りし、9店舗を営 業している。 ○主に製品として取り扱っ ているのは、シロカワカ ジキやメカジキの加工 品。	 

	○三崎は「風待ち港」だったため、下町には芸者衆が多かった。 ○昔は日本全国からカツオ船が来ていた。カツオを求めて、加工のノウハウを持った人々が移住し、かつお節や生利節を作っていた。 ○この建物には北原白秋が泊まったことがある。ふすまに「城ヶ島の雨」の一節を書いたが、当時の大家が怒って処分してしまったと聞いている。北原白秋は、ここ以外に白石区の見桃寺や向ヶ崎区の大椿寺に泊まっていたそうだ。 ○お客様は、市外の方が多い。最近は、近隣住民に知ってもらうためにちらしを作り、ポスティングしている。 ○30日はみりん・醤油漬けが2割引。 ○お歳暮やお中元の需要が減ってきている。 ○最近は、大入りのものより、一切れずつ小分けにした商品の需要がある。	 △冷凍されたシロカワカジキ。上顎は船上で切り落とされる。
5	三崎テレビ商会 営業：月～土・9～19時 ○三浦市と横須賀市の一部において、家電の販売・修理をおこなっている。電話をもらえば訪問する。 ○1人で営業している。 ○三浦市の電商組合に加盟しているが、活動はしていない。	
6	今井建築 営業：月～土 ○現在は3代目が1人で経営している。 ○最近は、新築の依頼は減	

	多にない。修理や増設に関する依頼が主。横須賀市まで仕事に行くこともある。	
7	チームケアプロジェクト 営業：平日・9～7 時 ○介護保険のケアプランを立てる居宅介護支援事業所。 ○平成 22 年開業。 ○スタッフはケアマネ 3 名、事務 1 名となっている。	

ソフト面（人々の暮らし、助け合いの仕組みなど） 活動団体ヒアリング

団体名	海外楽友会	 代表者 石井 ハナ子
活動場所	海外会館	
活動日	第1火曜日：役員会 第1木曜日：サロン活動 毎月1回：海外会館周辺の掃除 偶数月：神明神社の掃除 2か月に1回：老人福祉保健センター 4月：総会、9月：敬老会、1月：新年会 年1回：三浦市老人クラブ連合会の清掃活動、 スポーツ大会等への参加	
会員数	46名（男性：15名 女性：31名）※平成29年	

団体及び活動の概要

○役員は、会長1名、副会長1名、会計2名、組長6名。兼務があり、役員は全8名。会員の平均年齢は約80.5歳。

○主な収入源は区の補助金、三浦市老人クラブ連合会の補助金、年会費。年会費は1名あたり2,000円。三浦市老人クラブ連合会の補助金は徐々に減額されている。高齢者の数は増えているので、厳しい状況。

○三浦市社会福祉協議会と協働し、サロンを毎月開催している。主に、介護予防の体操や脳トレ、ミニ講座、未病センターの体組成等測定をおこなう。

○海外会館周辺の掃除は、2人1組でおこなう。

○三浦市老人クラブ連合会全体の社会奉仕活動として、毎年9月15日前後に清掃活動を実施している。楽友会では、海外港周辺と歩道などの草刈りやゴミ拾いをおこなっている。平成29年は15名の参加があった。

○2か月に1回老人福祉保健センターを利用し、毎回30名近い参加がある。バスによる送迎があり、到着し会長挨拶を済ませた後すぐに、三崎警察署による生活安全や振り込め詐欺などをテーマにした30分から1時間程度の講話がある。その後に、お風呂やカラオケを利用する。

○以前は敬老会や新年会の会場として老人福祉保健センターを利用していたが、平成29年度から海外会館で実施している。家から近い方が安心する人が多いためか、9月に実施した敬老会には40名もの参加があった。食事をとった後、皆で「海外楽友会小唄」（松ノ木小唄の替え歌）など10曲近く歌い、大いに盛り上がった。皆歌うことが好きなので、手作りの歌集（右図）を用意している。また、ビンゴ大会も実施した。

○総会では事業報告、会計報告をおこなう。その後の時間は、ビンゴ大会や、歌を歌う。

○区と三浦市老人クラブ連合会へ事業計画、事業報告及び会計報告を年1回提出している。

○昔は、会員へ入院見舞金を出していたが、予算がなく今は実施していない。

三

さ
み
も
み
さ
か
え
る

明日も希望に
輝いて
夢に見て
こころ花

海外楽友会

二

た
の
し
い

いつもほがらかに
カラオケ踊りに
笑顔やさしい
和とさずな

海外楽友会

一

こ
れ
ぞ

朝日に映える
富士の峰
船は行く
えびす顔

海外楽友会

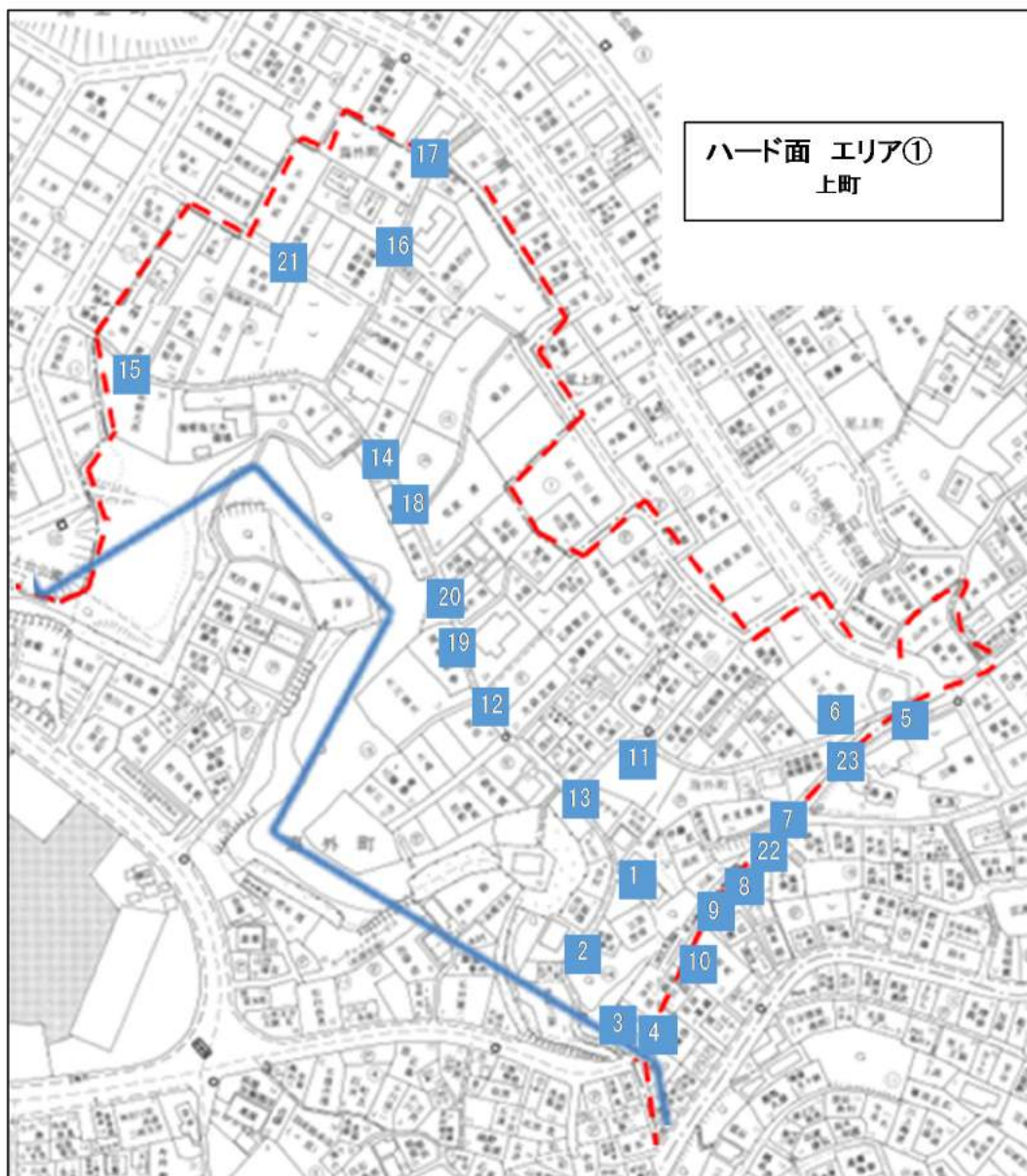
海外楽友会 小唄

代表者ヒアリング内容

- サロン活動は、皆で集まって体力作りとおしゃべりができていい。
- 昔は、年に 3 回位旅行に行っていた時期があり、30 名程度の参加があった。そのうち 2 回は「花の会」と団体名を付け、楽友会以外の人も参加できるようにしていた。
- 平成 29 年に旅行を計画したが、人数が集まらず実施に至らなかった。昔はまとまりがよかったということもあるが、年を重ね足腰が弱っている人が多くなり、バスの長旅に耐えられないことが理由だと思う。
- 今後は、老人会の会員に限らず、様々な人が参加できるお茶飲みの会を開いてみたいという意見が役員間で出ている。

ハード面（ユニバーサルデザインによるまちづくりは進んでいるか？）

実際に区内を歩いてみて感じた危険箇所やバリアフリー化の状況を示している。

ハード面 エリア①上町

1	②③の坂の頂上付近にコンクリートの塊がある。近隣住民曰く、坂を登り切った人が、そこに腰かけてよく休憩している。	
2	住民の通り道。道幅は人二人ですれ違うことができる程度。太い手すりがついているが、さびている。草木が生い茂っているため、日中でも薄暗い。②と③はつながっている。	
3	②から降りてくると、下部が階段になっている。階段は段ごとに高さや踏面の長さが異なる。消火器と通学路の表示が設置されている。	

4	大きな排水溝がある。傘やハイヒールなどは刺さるおそれがある。	
5	通学路。道路にはっきりした標示がある。坂の上部は草木が生い茂り、日中でも薄暗い。電柱には「通学路飛び出し注意」の看板が掲示されている。	  

6	車 1 台が通行できる。車の通行量は多くないが、車が通るときには、通行人は民家の敷地などによける必要がある。道の真ん中に排水溝がある。	
7	階段を上がると数軒の家がある。階段には手すりがついている。片方の端には段がないが、ところどころひびが入っている。下部は地層が自然のまま露出している。その横にごみステーションが設置されている。カーブミラーに標高の標示ステッカーが貼られているが、色あせて読めなくなっている。	   

8	土止めされている。	
9	ごみステーション。 標高のステッカーが貼られているが、色あせて読めなくなっている。	
10	排水溝のグレーチングの周りに高さがあり、なだらかではあるが出っ張っている。緑色の部分が滑りづらい素材なので、すり足気味に歩行する人は、その段差につまづくおそれがある。	
11	草原。小学生が遊んでいることもある。一角に消火器がある。	

12	消防器具	
13	電柱に「危険 スピード落とせ」の看板あり。	
14	車 1 台通ることができる程度の道だが、車が一時待避できるようなスペースがある。	
15	ごみステーション。掃除用具が置かれている。消えてしまって完全には読めないが「ゴミ当番の方家からお水を運ぶのが大変な方はこのお水をお使ください」という貼り紙と、掃除用のペットボトル入りの水が置いてある。この水は組長が自主的に用意している。	

16	道路幅 2m程度。道の真ん中に排水溝がある。道路に穴が開いている。その周りには、補修した跡がいくつか見られた。	
17	尾上区につながる階段がある。真ん中と両端に手すりがついているが、錆びている。階段の端の側溝の蓋と蓋の間に、大きな隙間がある。	
18	道路がひび割れている。	
19	道路に凹凸がある。	

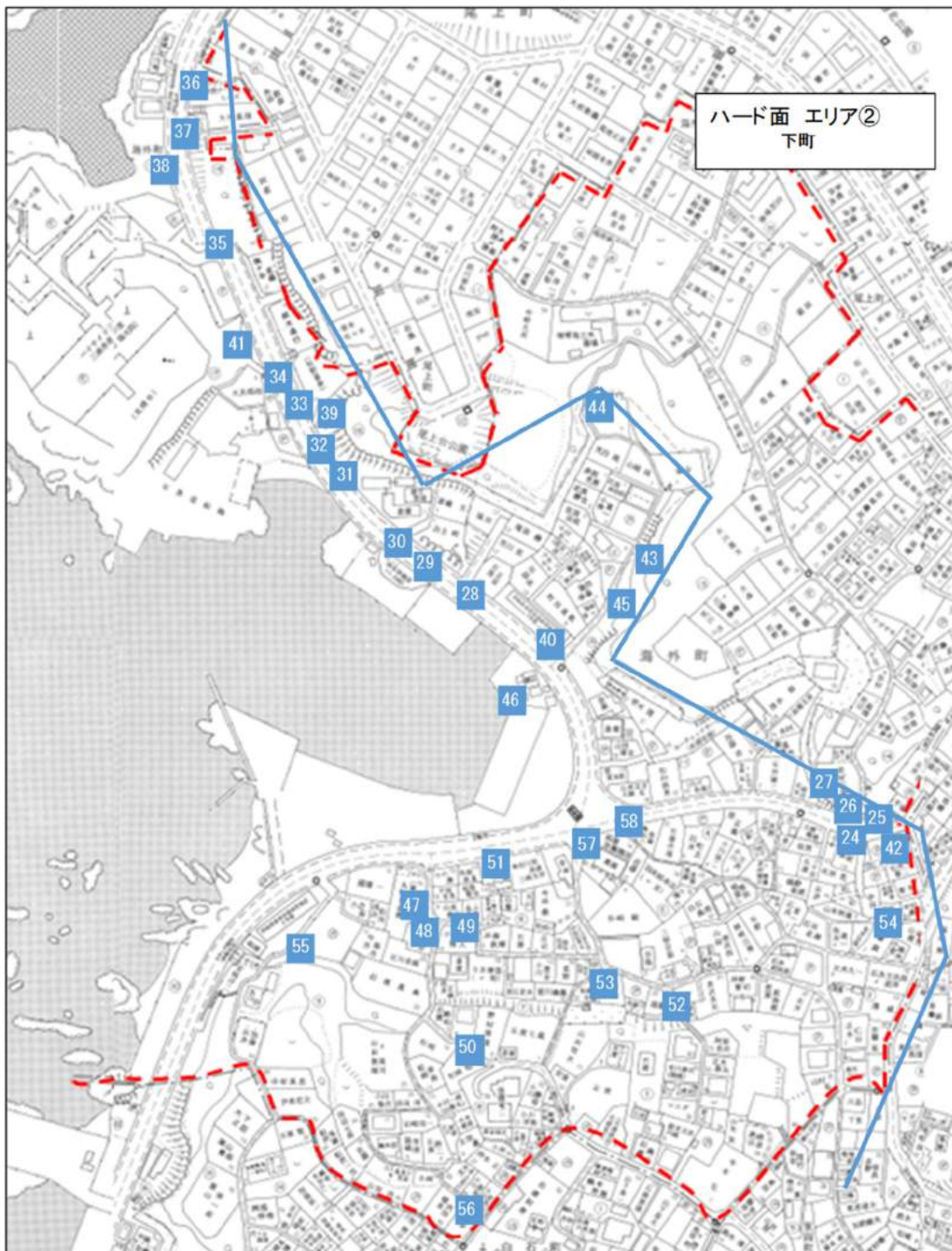
20	排水溝の蓋が欠けている。	
21	道路はきれいに舗装され、ゆるやかな傾斜になっている。 一部道幅が狭まっているが、軽自動車であればすれ違うことができる。	
22	消火栓のマンホールがある。	

23

9月29日、大雨の翌日の様子。土砂が崩れていた。カラーコーンは三浦市のもの。
草と土が落ちたため、斜面に空いている穴の中にタイヤや木材、空き瓶などが入っているのが見えている。



ハード面 エリア②下町



24	道幅が広い。 路上駐車が多いが、問題なく車両通行することができる。	
25	ごみステーション。清掃当番について掲示されている。 写真左端の電柱に標高の標示ステッカーが貼られているが、色あせて読めなくなっている。	
26	土止めのコンクリートがひび割れている。	
27	ごみステーション。きれいに利用されている。	
28	歩道に草が生い茂っている。	

29	車道に面したところに「スランプ構造」があり、立て看板が設置されている。足元には雑草が生い茂っている。 近所の住民は「この崖の上から石が落ちてきたりしていて、危険。がけ崩れになるのではないかと心配。」と話す。	   
30	ごみステーション。きれいに利用されている。 9月29日ごみステーションの横に、段差解消用のスロープが放置されていた。	  

31	歩道に背の高い雑草が生えている。歩行者は、路側帯を歩くことになる。飲み物の空き容器などのゴミが落ちている。	
32	地層に穴が開いている。背の高い草が生えているが、柵などはない。中には、マリンスポーツの道具が入っている。	
33	土止めされている。その上には宅地や住宅がある。	

34	京浜急行バスが通る道。	
35	歩道に草が生え、枝葉がせり出している。	
36	歩道に穴が開き、三浦市職員が三角コーンと板を置いて行ったところ。	

37	歩道横に草刈りされたあとがある。	
38	海にほど近い歩道。赤いかきが何匹か歩いていた。	 
39	宅地へのアプローチ。一部だけ水っぽいところがあった。 下2枚は9月29日、大雨の翌日の様子。土と水が歩道を越えて路側帯にまで流れ出していた。	

		
40	歩道の舗装の一部が欠けて、土がむき出しになっている。	
41	ごみステーション。ゴミ箱の外にゴミが落ちている。	

42	排水溝の蓋が欠けている。	
43	駐車場に隣接した道だが、幅が狭く、電柱や階段などが道路にせり出しているため、車で通行することができない。 舗装されていないところに布が敷いてある。 電線には枝葉が覆いかぶさり、ツタが這っている。 駐車場に消火器がある。 電柱に標高の標示ステッカーが貼られているが、色あせて読みづらくなっている。	

		 
44	下町から上町へつながる坂道。手すりがついているが、長い坂道。一部では草木も生い茂っていて手すりを掴みにくい。脇には空き家もあり、鬱蒼としている。	 
45	ゴミの投棄禁止の看板が立っている。その前にボートが放置されている。	

46	浜辺には漁業協同組合に所属する漁師の小屋が数軒建っていて、それぞれ個人が所有している。 訪れた小屋では、伊勢エビを獲る網の補修作業をおこなっていた。 小屋に来た仲間と世間話をしていた。	
47	10月30日、前日までの大雨の影響により、空き地から水が出て、道路まで流れ出ていた。	

48	消火器が設置されている。	
49	轍に沿って、道路がひび割れている。	



50	道幅が狭く、傾斜が急な坂道。軽自動車 1 台なら通ることができる。坂の上部と下部で、舗装の質感が異なる。	
51	バス停「海外」 10 月 30 日現在、三崎口駅行の最終便は 18 時 15 分。三崎東岡行きの最終便は 19 時 11 分。 平日・休日ともに 1 日 11 便の運行がある。	

52	階段を上ると数件の家がある。手すりはあるが、階段の下の方は崩れていて歩きにくい。踊り場には草が茂っていたそうだが、調査時には草が刈られていた。	
53	掲示板にお知らせがきれいに貼り付けてある。	

54	下が暗渠になっている路地。夕方に通りがかったら、コバエが密集して飛んでいた。	
55	民家へ続く道になっているが、右側崖下は空地になっていて、柵がない。	
56	小道の入口のかどに水道の蓋があるが、その周りの土がなくなっていて、蓋が出っ張っている。その横を走る排水溝も出っ張っていて、道に凹凸ができています。 雨が降ると蓋の周囲に水が溜まり、なかなか水が引かないため、自転車やバイクで走行しにくい。	

57	海外の交差点脇にある木のベンチ。男性がよく集まって話している。	
58	漁港前の交差点の脇にある海外会館（写真①）。 区の役員会の他、下記の団体が体操教室やサロンを開催している。 元気アップ教室（三浦市保健福祉部高齢介護課）：毎週木曜 13：30～15：00 海外楽友会サロン（写真②）：第1木曜 10：00～11：00 室内は畳30畳ほどの広さで椅子はなく、座布団で座っている。 会館前には防災倉庫、掲示板、電話ボックスが設置されている。（写真③・④）	 ①  ②



結果

地域踏査により明らかになった海外区の課題や強みをあげる。

1. 課題

①交通の便が悪く、買い物や外出に不便である

「加齢に伴い、足腰が弱くなった高齢者にとっては、生活しづらさが生じている。」という仮説を立証する結果となった。海外町の中心から一番近くのコンビニやスーパーマーケットまで13分以上歩かなくてはならず、食料品や日用品など、ちょっとしたものでも区内で買うことができない。買い物には、自家用車や民間の無料バス、徒歩、自転車で行くという声もあった。また、自分で買い物に行けない一人暮らしの人は「近隣市区に住む子どもが定期的買い物に連れて行ってくれる。」という声もあった。現在は自家用車やバイクを利用して困っていないという人も、運転ができなくなった後の不安を感じている人も多くいた。通院についても同様で、以前に比べ路線バスや循環バスが不便になったと感じている住民が多い。

②高齢化が進んでいることによる弊害

「就労先がなくなり、交通も不便なことから若年・労働世代の人口も流失している。」という仮説を立証する結果となった。成人した子どもたちは他の自治体へ移り住み、高齢化した親のみが区に残っている現状が多々見られた。配偶者に先立たれ、一人暮らしとなっている高齢者も多い。また、区内に住む若い人たちは、日中区外に働きに出ている。「いざというときに連れて逃げる世帯が決まっているが、自身が高齢者なので誰かを頼んで行けるか不安である。」という声があった。

③区全体で支え合う意識が希薄である

「地形や成り立ちの違いから、住民間のつながりをつくり、地域の諸課題について思いを一つにすることが難しい地域なのではないか。」という仮説を立証する結果となった。地形や成り立ちの違う地区間で、つながりが弱い現状が見られた。「足が悪く、坂が大変なので（海外会館のサロンに）行けない。」「海外会館までの道が悪く、歩きにくい。」という声があった。また、地区の成り立ちの違いから、自治に求めるものに差があると感じている人もいた。

④歩きにくい道が多い

細い道や坂、階段が多い。草木が生い茂り、歩きにくい歩道がある。空き地・空き家・手入れされていないのり面・斜面が多く、舗装されていない土地も多い。そういった理由からか、調査期間中に大雨が降った後は、各所で坂の上から水が流れていた。近くの住民が道路の舗装を市や県に連絡したり、老人会で交差点周りを草取りするなど、できる人たちができる範囲で対応しているが、市や県の道路の改修も追いついてない。

2. 強み

①近隣住民間に助け合う関係があることが多い

まず住民から多く聞かれたのが、「近所のつながりが強い」、「近所の仲がいい」というところである。ご近所で物の貸し借りをしたり、おしゃべりをしに家を行き来したり、隣組でゴミ出しの手伝いや声掛けをするなど、自然とお互いの安否確認、見守りなどの生活支援ができていようだ。通院や買い物の際に近所の人が車に乗せてくれるという話もあった。

歴史の長い下町は、昔ながらのつながりも強いと予測していたが、30年ほど前に引越してきた住民が多く、最近新しい住宅も増えている上町でも、隣近所のつながりや交流を感じることができた。「引越してきたら近所の人が地域のことをいろいろ教えてくれた」「親切にしてくれる人が多い」「隣組で協力できている」などの声も聞かれた。地域の至るところに支え合いがあり、コミュニケーションや見守りができていることがわかった。

②男性同士のつながりが保たれている

区の特徴の一つとして、男性陣のつながりがあるように感じた。港の漁師小屋の男性に聞き取りをしているところに、知人の男性が顔を出していたり、交差点の脇のベンチでは男性が集まっておしゃべりをしている風景をよく見た。漁師や船の関係の仕事をしていた人が自然に集まるようだ。老人会のサロンにも毎回3~4名の男性が参加しており、他の地区におけるサロンより男性の出席率が高い。

③元気な高齢者が多い

趣味や仕事を持ち、やることがたくさんある元気な高齢者の方が多い印象を持った。課題の②であげたように高齢者世帯や一人暮らしの高齢者が多いが、介護保険制度を利用せず、長く自分の力で暮らすことができている人が多い。趣味の活動で老人福祉保健センター等、区外へ出掛けるという声も多く聞いた。

④「海外楽友会」の活動がある

海外区の老人会である「海外楽友会」では、毎月定期的なサロンを開催しており、体力づくりや交流を継続しておこなっている。情報交換やお互いの安否確認の場にもなっており、区内の居場所としてこれからますます大切な場になってくるだろう。会員から「もっと多くの人に参加して欲しい」という声がある一方、「足が悪いので、行きたいけど坂を下って行けない」「知らなかった、行ってみたい」という声もある。移動面の課題解決を考えつつ、サロンの周知を図ることで、利用者は増えそうだ。

⑤防災活動に熱心である

防災活動が熱心におこなわれており、調査でも今までの取り組みを話してくれた方が多かった。住民の防災の活動への関心も高く、現在の区長も防災に関する講座を開催している。消火器の配布・回収など防災の取り組みについても評価している人が多くいる。特に、防災に関心のある男性が多い印象を受けた。

⑥地域住民間で課題を解決してきた歴史がある

ごみステーションの課題について話し合っただけでルールを定めるなど、住民で地域の課題に取り組み、物事を決めることが得意な地域性があるとわかった。

考察

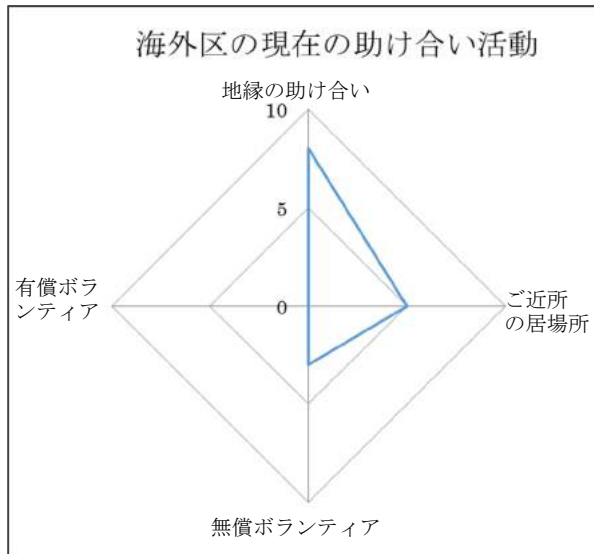
ここまで海外区の課題・強みをあげたが、この結果から見てきた海外区の姿を以下の通り表現する。

老人会の活動があり、また隣組を中心とした近隣住民間の深いつながり、支え合いが現在も継続されているという強みがある一方、その関係を構成する者には後期高齢者が多く、数年後にはこのつながりが弱まる恐れがある。また、隣組の支え合いはあっても、地形や成り立ちの違いから区全体としてのつながりが少なく、区全体で支え合う仕組みが今はない。しかし、防災に関する継続的な活動や住民間で課題解決をしてきた歴史があることから、これからの海外区の課題解決に向けた話し合いもおこなっていくことができる地域なのではないか。

海外区での暮らしについて、「今のままでいい。」「望むことはない。」という声もあり、このままの海外区を継続していくという選択肢もある。だが、今のままでよいという暮らしも5年後、10年後に住民同士の交流やちょっとした支え合いが継続していけなくなったとき、どうなっていくだろうか。

誰もがいつまでも安心して暮らしていく海外区であるために、これからどんなことをしていくべきなのか。今、交流や支え合いの中心になっている高齢者がいなくなった後も、地域での支え合いを継続していくにはどうしたらいいのか、海外区に住む住民間で考えていく必要がある。また、課題によっては、海外区だけで取り組むのではなく、近隣区と協働することも必要になるだろう。

考察の最後に、さわやか福祉財団の「見える化チャート※」を参考に、区の現在の助け合い活動の状況を見える化してみた。強みでもあげた隣組を中心とした支え合いは「地縁の助け合い」や「ご近所の居場所」に該当する。また老人会のサロン活動は「ご近所の居場所」でもあり、「無償ボランティア」にも該当する。また、現在区内には支え合い活動や居場所づくりに関わる「有償ボランティア」はいないので、0となっている。



※実際の「見える化チャート」は住民が集まった中で、4つの項目に対し住民一人ひとりが「ある」と回答した数をチャートに反映するものである。

提案

海外区で誰もがいつまでも安心して暮らしていくために、どんな支え合いがあったらいいのか？本章では、先にあげた課題の中から「①交通の便が悪く、買い物や外出に不便である」について、具体的な課題解決の方法を、他の自治体の取り組みなどを例に上げ提案する。あくまでも一例なので、実際に取り組む際は次の章で述べるように区における話し合いが必要である。

買い物の課題解決のために

「買い物」とは何か。満足のいく買い物とは「自分自身で」「複数の商品の中から」「選んで買う」という要素が満たされたときに初めて成し得るものであると考える。また「チラシを見て安いものを選ぶ」ことも、買い物の満足度を高める重要な要素である。これらを踏まえて、買い物に不便であるという課題を解決するための方法について、「誰が」「どのような人のために」「何をするのか」を考える。

「誰が」…【自助】自分や家族でできること。

(1) 自分の行きたいときに、行きたいお店へ行くことができる人のために

①徒歩・自転車・公共交通機関などを使って、自由に行動し続けられるよう、介護予防と体力づくりに取り組む

(例) ・老人会のサロンに参加し、体操や脳トレをおこなう。

- ・体力低下を防ぐために、民間の運動ジムなどで運動する。
- ・認知症を予防するために、趣味のサークルや老人福祉保健センター等へ出向き、仲間と交流する。

「誰が」…【互助】近隣の助け合いでできること。

- (1) 近くまで送迎してもらえれば、一人で買い物することができる人のために

①住民間で車を調達し、乗り合わせて一緒にお店に行く

住民間で話し合い、日時や場所、ルール、どの車を使うのかなどを決める。

(例) ・南アルプス市「買い物ツアー」

南アルプス市湯沢地区において実際におこなわれている取り組み。買い物を中心とした移動が課題であることから、自治会長が仲間とともに買い物支援を開始。月1回、店舗の多い地域まで高齢者10名ほどを送迎し、一緒に買物や食事をする。社協から2台車を借り、運転手は住民が務める。経費はガソリン代と行事保険代のみで、自治会費から賄っている。

「誰が」…【共助】社会保障制度や介護サービスなど社会全体が担うこと。

- (1) 近くまで送迎してもらえれば、一人で買い物することができるが、近所に頼める人がいない人のために

①スーパーマーケットの無料送迎バスを利用する

日時や送迎先に制限はあるが、企業が取り組む限り利用することができる。

(例) ・京急ストア「お買物無料送迎バス」

・スーパーマーケットフジ「フジふれあいバス」

- (2) 家の近くまで販売車に来てもらえれば、買い物することができる人のために

①移動販売車を誘致する

日時や場所、買うことができるものに制限はあるが、企業が取り組む限り利用することができる。

(例) ・京浜グループ「セブンあんしんお届け便」

三浦市では、平成30年1月より京急グループによる「セブンあんしんお届け便」という移動販売車の事業が始まった。現在は、市内9ヶ所に週1~2回販売車がやってくる。

「誰が」…【公助】行政の力。

- (1) 一人で食材を選び、食事を作ることができない人のために

①配食サービスを利用する

(例) ・どんまい弁当など

今後に向けて～「誰もがいつまでも安心して暮らしていくために」

地域住民が取り組むべきこと 「地域住民間で話し合う場をつくる」

このように、課題一つをとっても、色々な人が取り組める方法を考えることができる。これを実行したり、あるいはよりよいアイデアを出したり、他の課題についても解決方法を考えるためには、地域住民間で話し合うべきではないかと考える。

本調査を通して、海外区には、「地域の支え合い活動に興味がある」「何か地域のためにやりたい」という人々がいることがわかった。こういった意欲を持つ人々を中心に、地域の課題と、それについて自分たちにできることについて話し合う場を設ける。どのような助け合いがあれば安心して暮らしていくことができるのか。我が事として話し合い、支え合い活動を創出していくことで、地域を変えていくことができるのではないかと考える。

三浦市社協が取り組むべきこと 「支え合い活動のサポート」

また、地域住民の主体的な活動に更なる実効性を持たせるために、三浦市社協と行政は支援体制を整える必要があると考える。

まず、三浦市社協は、社会福祉協議会が持つ「住民主体の原則」に則り、住民の支え合い活動のサポートをおこなう。海外区の課題解決に向けた地域住民間の支え合い活動を側面的に支援する。例えば、必要な勉強会を地域住民と共に企画・実施したり、各機関や他地区とのネットワークづくりをおこなう。

行政が取り組むべきこと 「地域の支え合い活動を創出する具体的な支援の実施」

そして、行政、つまり三浦市には、各地域における支え合い活動を推進する役割がある。高齢者のニーズと社会資源の状況を把握し、地域における取り組みを総合的に支援・推進する役割を担う「生活支援コーディネーター」と、その生活支援コーディネーターの役割を補完する組織「協議体」の設置が義務付けられている。この協議体と生活支援コーディネーターは、支え合う地域の広さによって「第1層（三浦市全域）」「第2層（中学校区）」「第3層（小地域）」に役割分けされている。現在三浦市では、第1層の生活支援コーディネーター2名と、同じく第1層の協議体を設置している。しかしながら、これらの取り組みは第2層や第3層における支え合い活動を創出し、推進するには至っていない。三浦市は、住民の動きを見守るだけでなく、具体的な支援を進めていく必要があるだろう。

編集後記

海外区での地域踏査を終え、地域診断書を発行することができました。まずは、お忙しい中、地域の実情について丁寧に、そして、率直なご意見をお聞かせくださいました関係各位に、心より感謝を申し上げます。調査・まとめに時間がかかり、皆様をお待たせしてしまったこと、大変申し訳ありませんでした。多くの方から回答を得ることができ、たくさんの意見が詰まったボリュームのある診断書ができあがりました。調査の最中には、皆さんが海外区のいいところとしてあげていたすばらしい景色をあちこちから眺められ、気持ちよく過ごすことができました。また隣組での助け合いの話を聞いて、こちらが力をいただくこともありました。

海外区の皆さんが、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるよう、これからの活動をサポートさせていただきますのでよろしくお願い致します。

(生活支援コーディネーター 齋田 聖子)

海外区は、「希望することは何もない」という人が多かったです。一方で、「海外区のいいところは何もないよ」と話し始め、それをよくよく聞いていくと、自ら近隣住民のために何かしていたり、暮らしの楽しみを持っている人も多くいました。やはり、誰かと話し、表現することから、「何かしたい」「できるかも」という気持ちが湧いてくるのではないのでしょうか。そういった気持ちを損なわず、一緒に育てていけるようお手伝いしたいと思います。調査にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

(地域福祉課 杉崎 悠子)

地域包括ケア推進のための地域診断書

社会福祉法人三浦市社会福祉協議会

〒238-0102 三浦市南下浦町菊名 1258-3

地域包括支援センターおまかせ

発行人：川崎喜正

編集責任者：成田慎一

編集人：齋田聖子 杉崎悠子

TEL 046-888-7347 FAX 046-889-1561